

笠間市
障がい者福祉に関するアンケート調査

概要版

平成 29 年 6 月

笠 間 市

1.調査の概要

(1) 調査の目的

平成30年度を初年度とする「第3期障害者計画」及び、「第5期障害福祉計画」の策定にあたり、障がい者の生活状況や意見・要望等を把握し、計画の見直しをするための基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査方法

市内にお住まいで、障害者手帳をお持ちの方を無作為に800人抽出し、アンケート調査票を郵送配布、無記名にて郵送回収しました。

(3) 実施時期

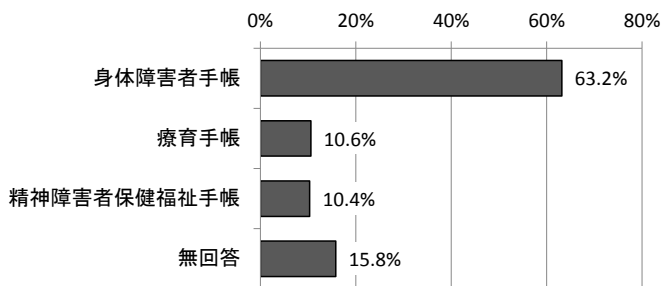
平成29年1月25日～2月8日

(4) 回収状況

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回収率
800	386	48.3%	386	48.3%

(5) 障がい別クロス集計について

障がい別クロス集計については、回答者の障がいを1つにする必要があるため、重複者については、優先順位を①療育手帳、②精神障害者保健福祉手帳、③身体障害者手帳の順で代表障がいとしました。よって、問7の手帳所持者数の数値（複数回答）とは異なります。



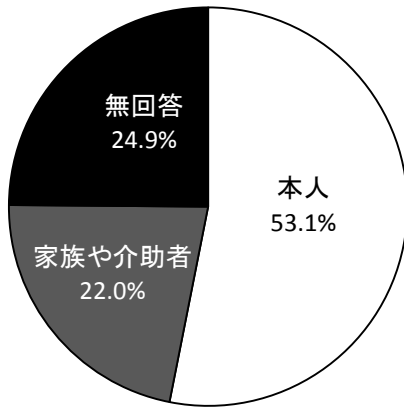
項目	度数	構成比
身体障害者手帳	244	63.2%
療育手帳	41	10.6%
精神障害者保健福祉手帳	40	10.4%
無回答	61	15.8%
合計	386	100.0%

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数に対する比率を少数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。

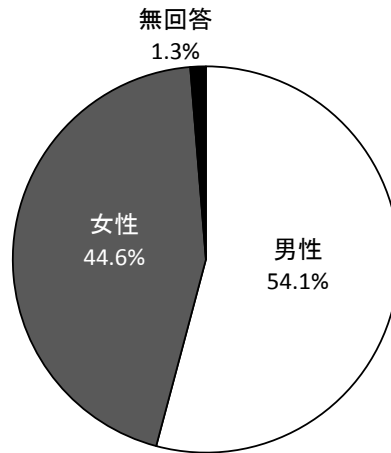
複数回答形式の設問については、その設問の回答者数に対する比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計は100%を超えることがあります。

2.アンケート調査結果

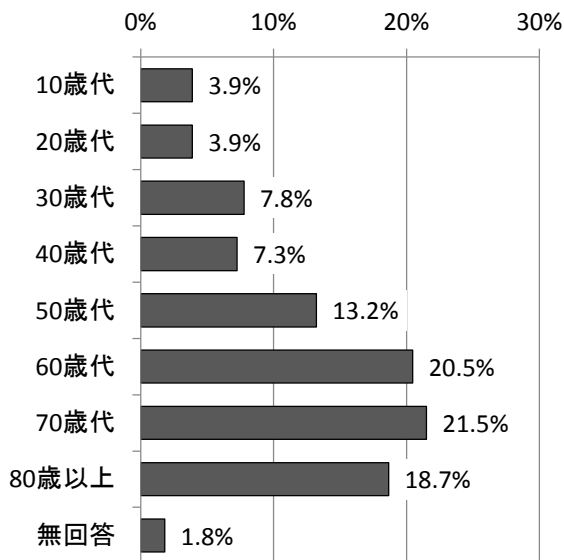
問1 調査票に回答した方



問2 あて名のご本人の性別

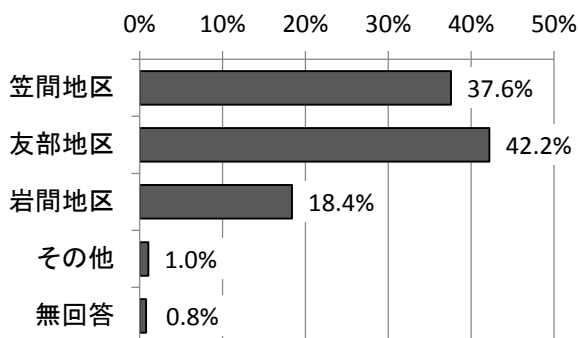


問3 ご本人の年齢



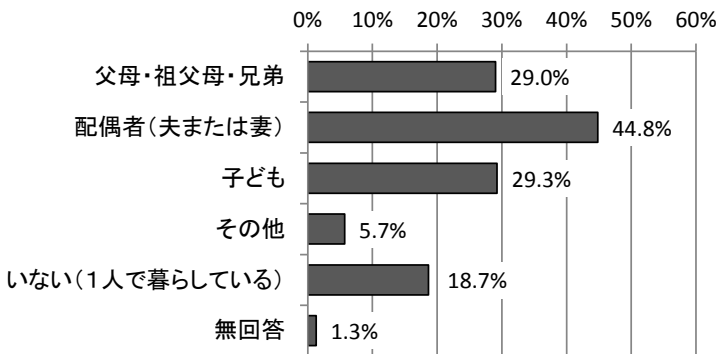
年齢については、「70歳代」が21.5%と最も高く、次いで「60歳代」が20.5%、「80歳以上」が18.7%となっています。

問4 ご本人がお住まいの地区



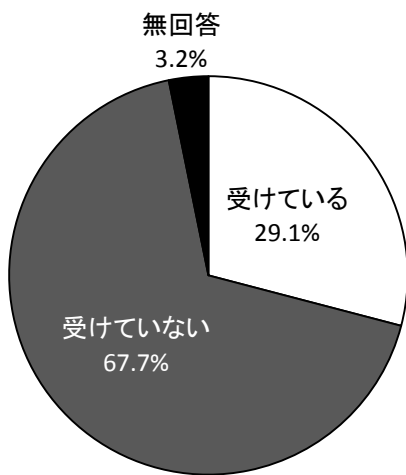
居住地区については、「友部地区」が42.2%と最も高く、次いで「笠間地区」37.6%、「岩間地区」が18.4%となっています。

問5 現在、ご本人と一緒に暮らしている人（複数回答）

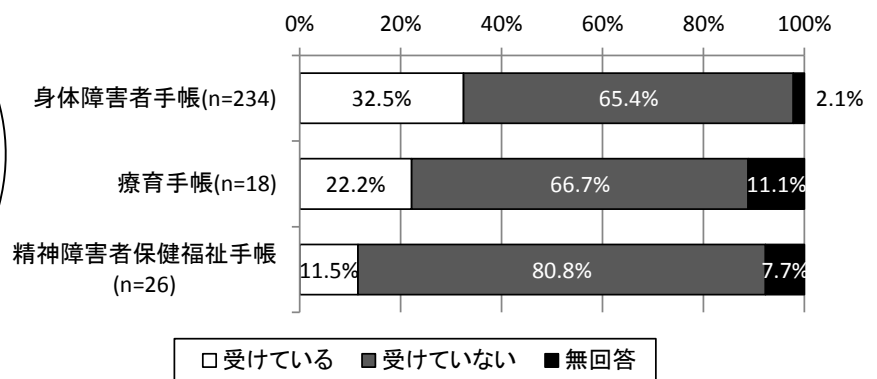


「配偶者(夫または妻)」が44.8%と最も高く、次いで「子ども」が29.3%、「父母・祖父母・兄弟」が29.0%となっています。

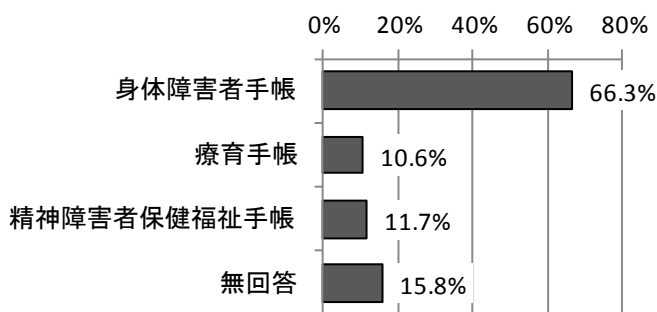
問6 ご本人は介護保険の要介護認定を受けていますか。（ご本人が40歳以上の方）



要介護認定については、「受けていない」が66.9%、「受けている」が28.8%となっています。

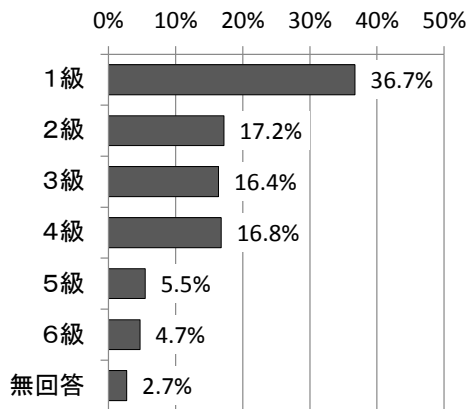


問7 現在お持ちの(1)障害者手帳の種類と、(2)手帳の等級について
(複数のお手帳をお持ちの方は、お持ちの手帳すべてについて)

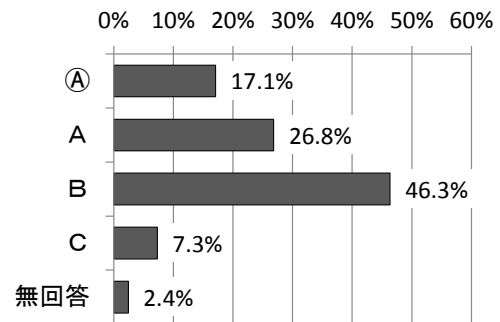


「身体障害者手帳」が66.3%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が11.7%、「療育手帳」が10.6%となっています。

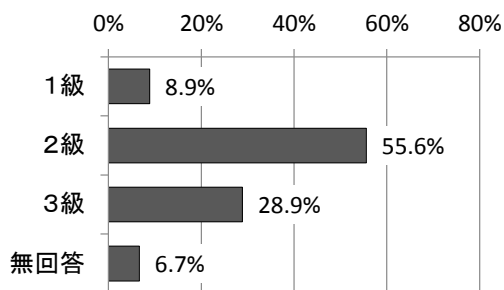
【身体障害者手帳】



【療育手帳】

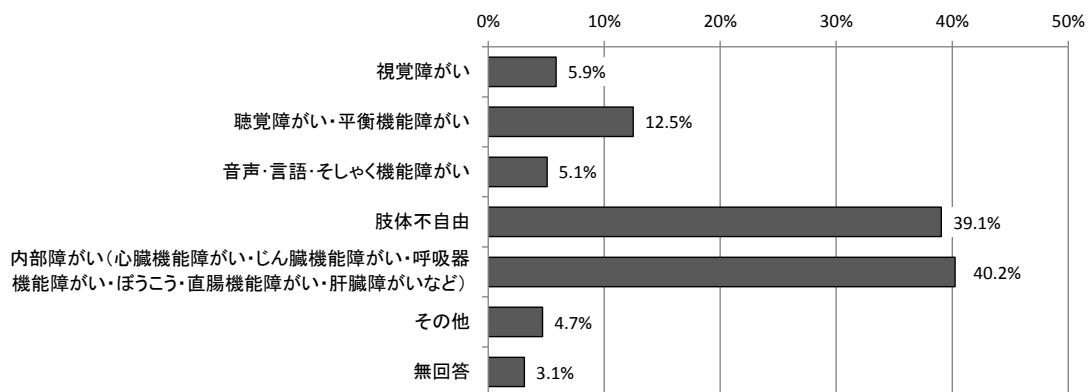


【精神障害者保健福祉手帳】



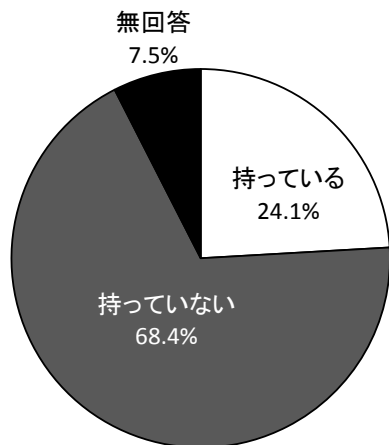
身体障害者手帳では、「1級」が36.7%、療育手帳では、「B」が46.3%、「精神障害者保健福祉手帳」では、「2級」が55.6%とそれぞれ最も高くなっています。

問8 主な障がいをお答えください。（複数回答）
（問7で身体障害者手帳を所持と回答したかた）



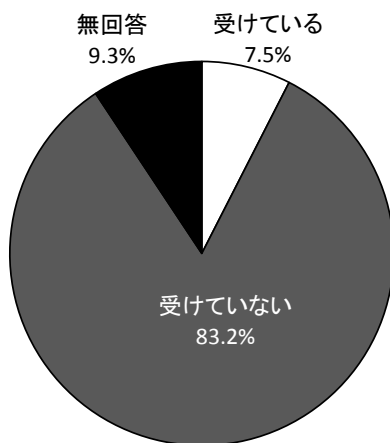
「内部障がい（心臓機能障がい・じん臓機能障がい・呼吸器機能障がい・ぼうこう・直腸機能障がい・肝臓障がいなど）」が40.2%と最も高く、次いで「肢体不自由」が39.1%、「聴覚障がい・平衡機能障がい」が12.5%となっています。

問9 自立支援医療（精神通院）受給者証の保有状況



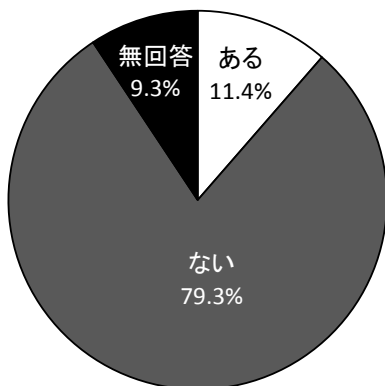
「持っていない」が68.4%、「持っている」が24.1%となっています。

問10 難病（特定疾患）の認定状況



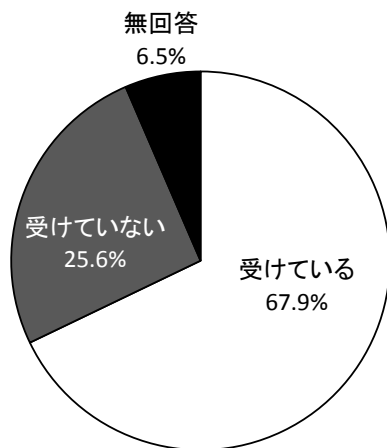
難病認定については、「受けていない」が83.2%、「受けている」が7.5%となっています。

問11 発達障がいとして診断状況

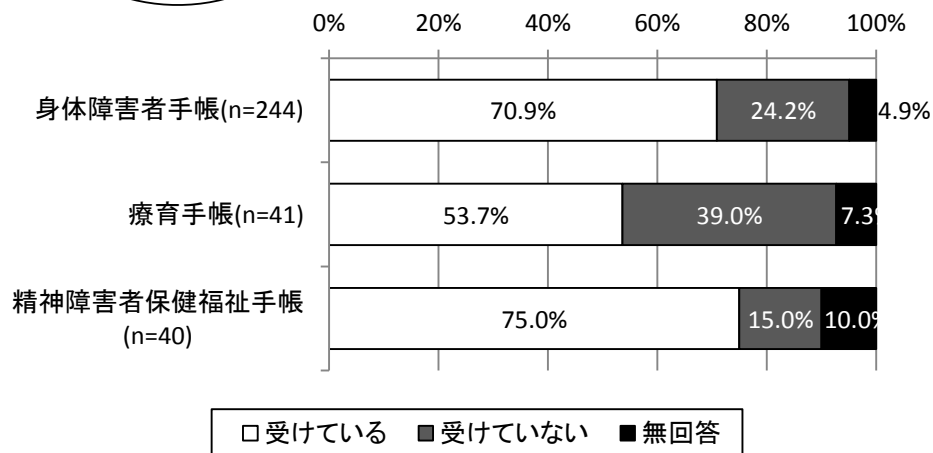


発達障がいの診断については、「ない」が79.3%、「ある」が11.4%となっています。

問 12 現在医療を受けているか

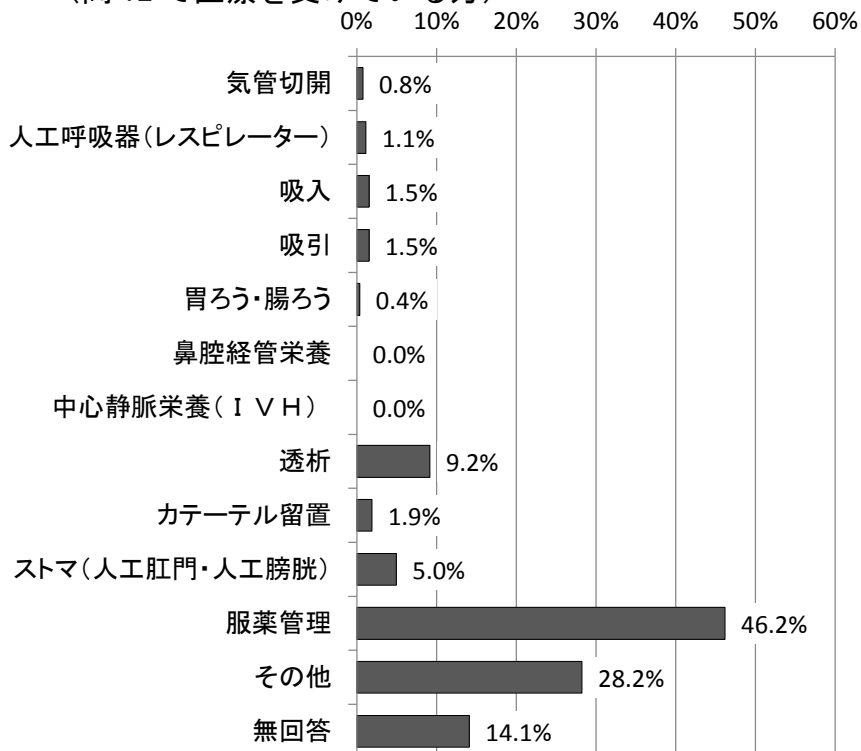


現在、医療を受けているかについては、「受けている」が67.9%、「受けていない」が25.6%となっています。



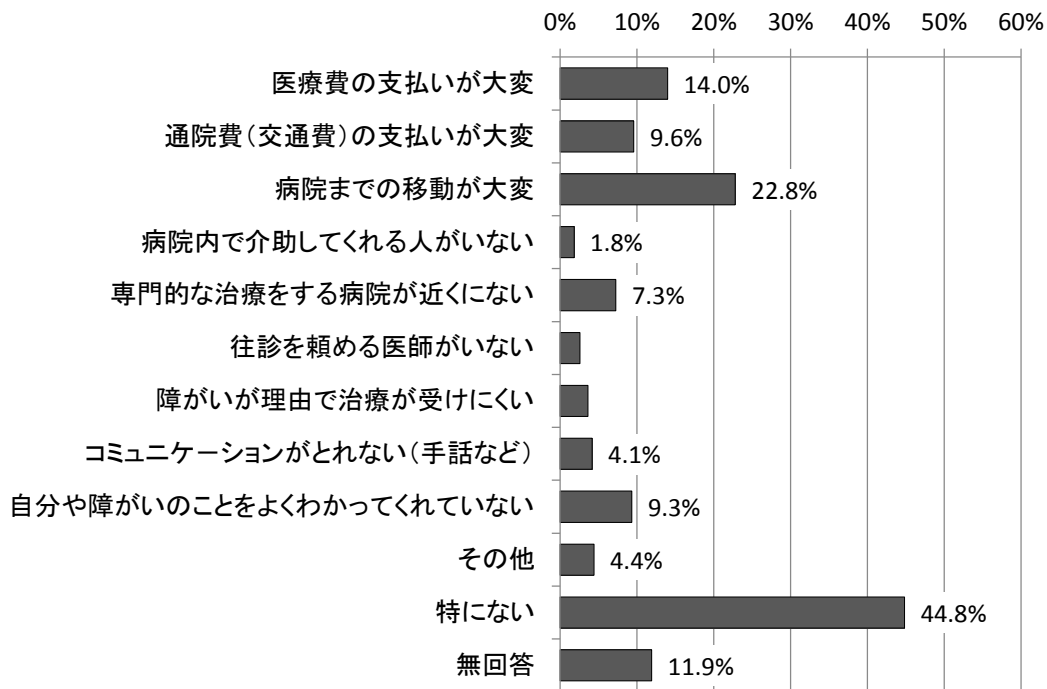
問 13 現在受けている医療ケア（複数回答）

(問 12 で医療を受けている方)



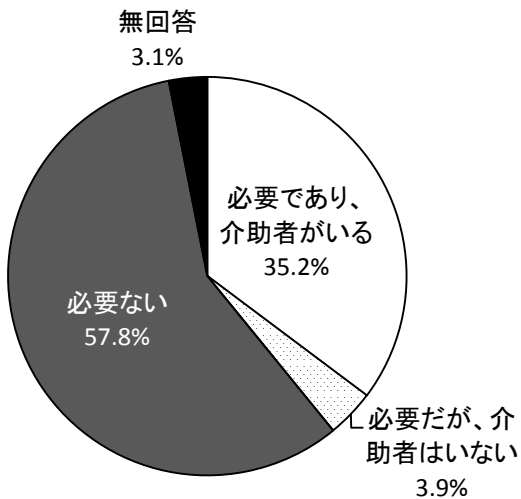
「服薬管理」が46.2%と最も高く、次いで「透析」が9.2%、「ストマ(人工肛門・人工膀胱)」が5.0%となっています。

問 14 医療を受けるうえで困ること（複数回答）

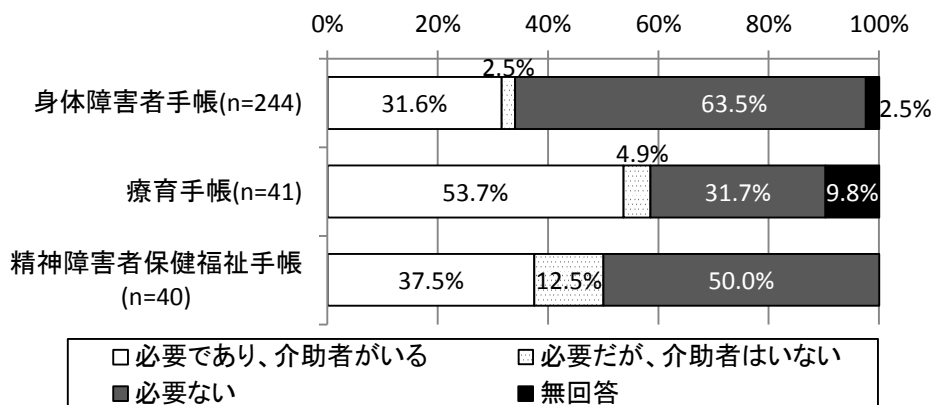


「病院までの移動が大変」が22.8%と最も高く、次いで「医療費の支払いが大変」が14.0%、「通院費(交通費)の支払いが大変」が9.6%、「自分や障がいのことをよくわかっていない」が9.3%となっています。

問 15 日常生活における介助者の必要性

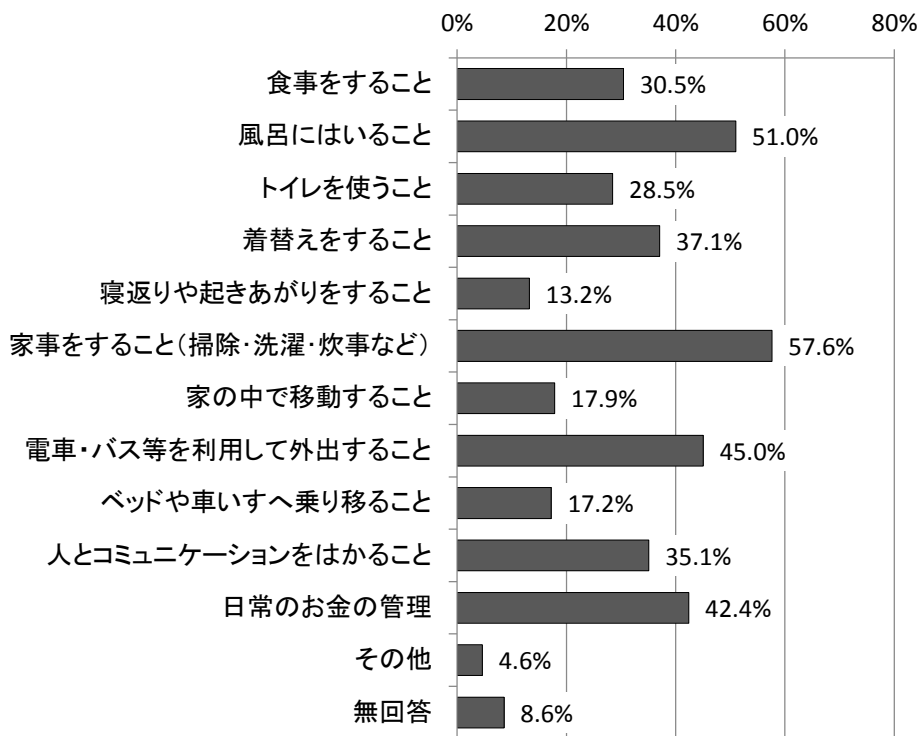


「必要ない」が57.8%と最も高く、次いで「必要であり、介助者がいる」が35.2%、「必要だが、介助者がいない」が3.9%となっています。



問 16 介助が必要なこと（複数回答）

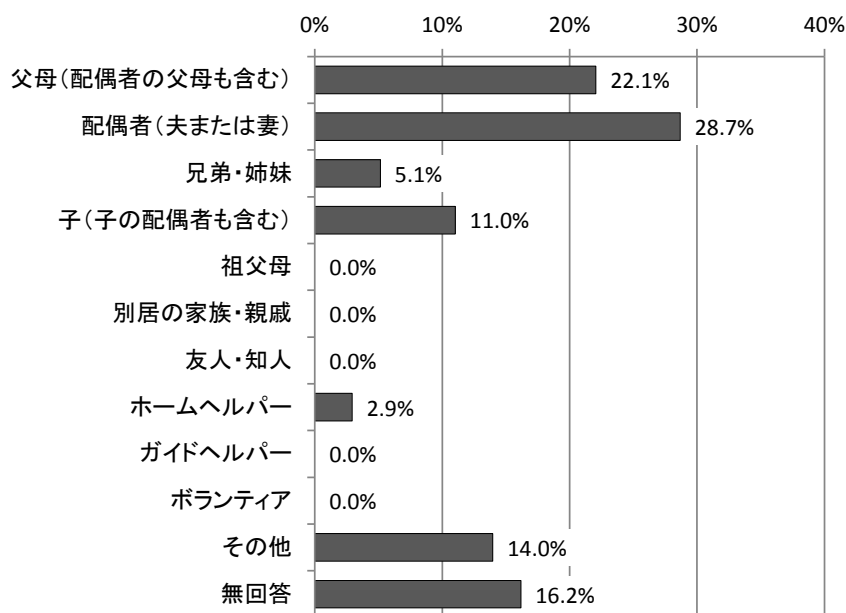
（問 15 で介助者が必要と感じているかた（実際に介助者がいなくても、必要だと感じる方も含む）



「家事をする」が 57.6%と最も高く、次いで「風呂にはいる」が 51.0%、「電車・バス等を利用して外出すること」が 45.0%となっています。

問 17 主な介助者

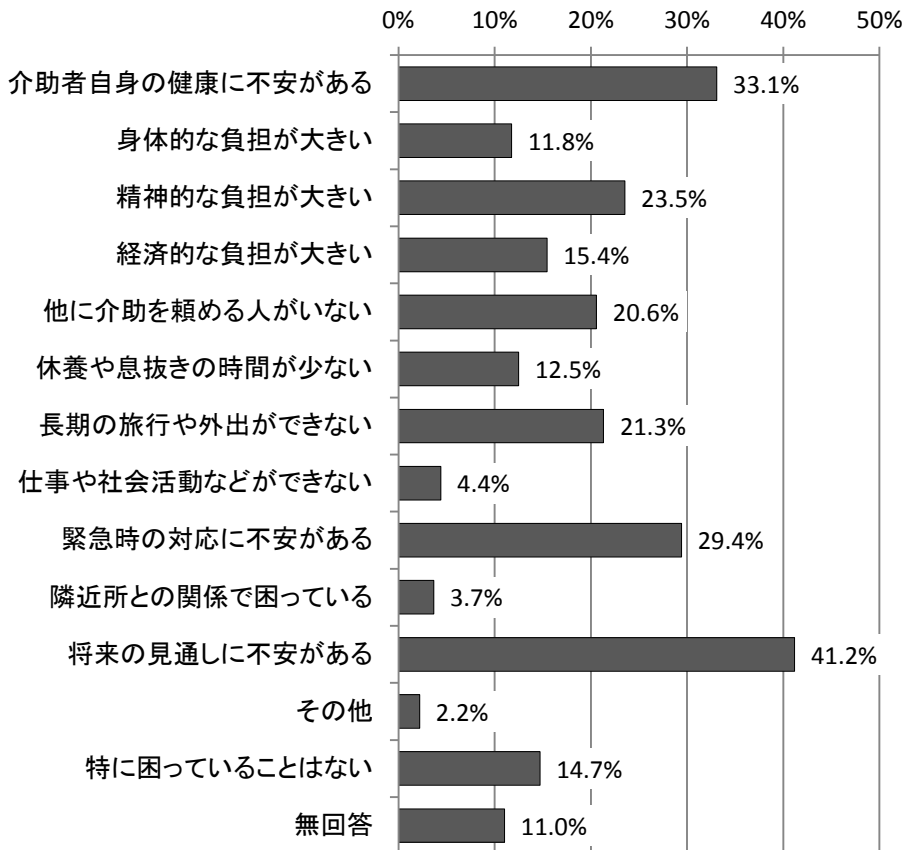
（問 15 で介助者がいると回答した方）



「配偶者（夫または妻）」が 28.7%と最も高く、次いで「父母（配偶者の父母も含む）」が 22.1%、「子（子の配偶者も含む）」が 11.0%となっています。

問 18 介助する上で困っていること（複数回答）

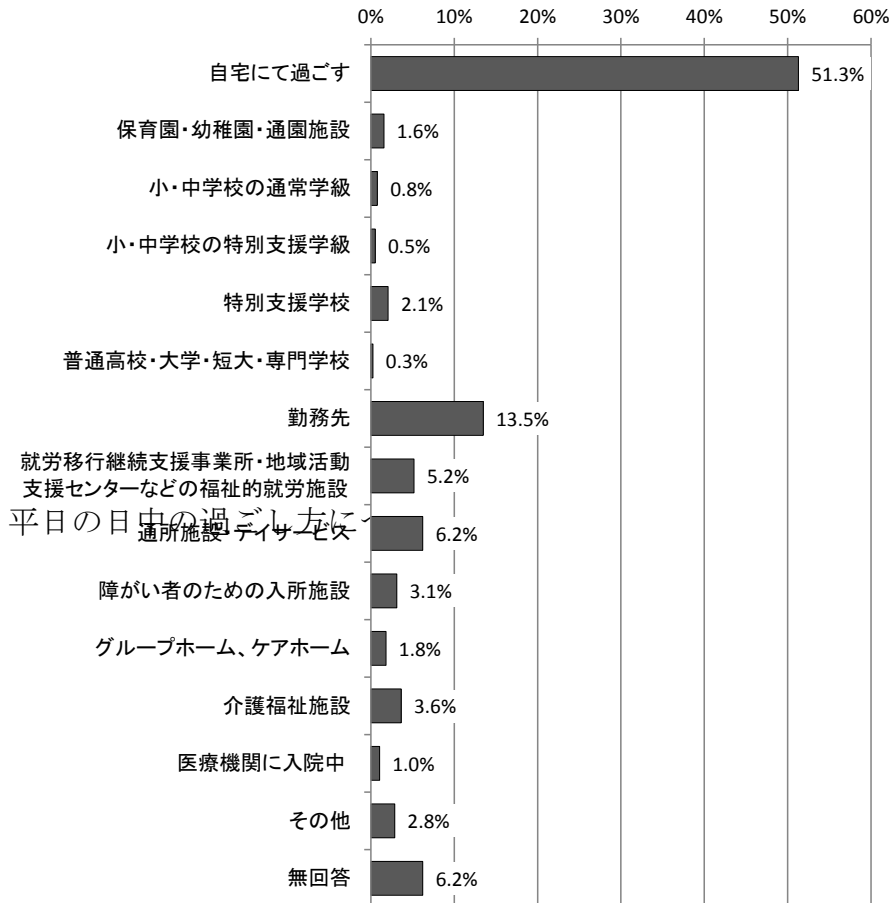
※問 17 のあて名のご本人の主な介助者の方にお伺い



「将来の見通しに不安がある」が 41.2%と最も高く、次いで「介助者自身の健康に不安がある」が 33.1%、「緊急時の対応に不安がある」が 29.4%となっています。

生活状況について

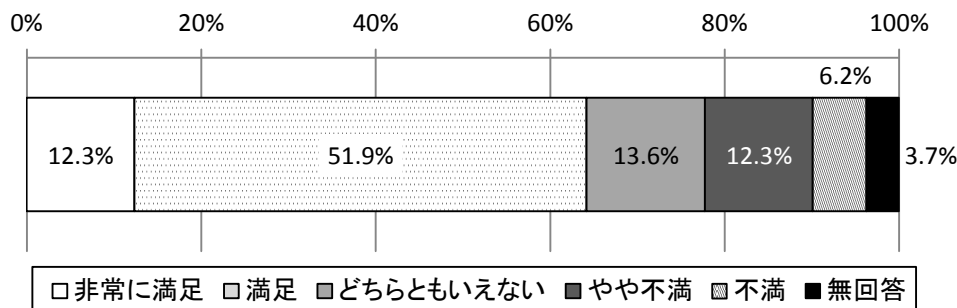
問 19 平日の日中の過ごしかた



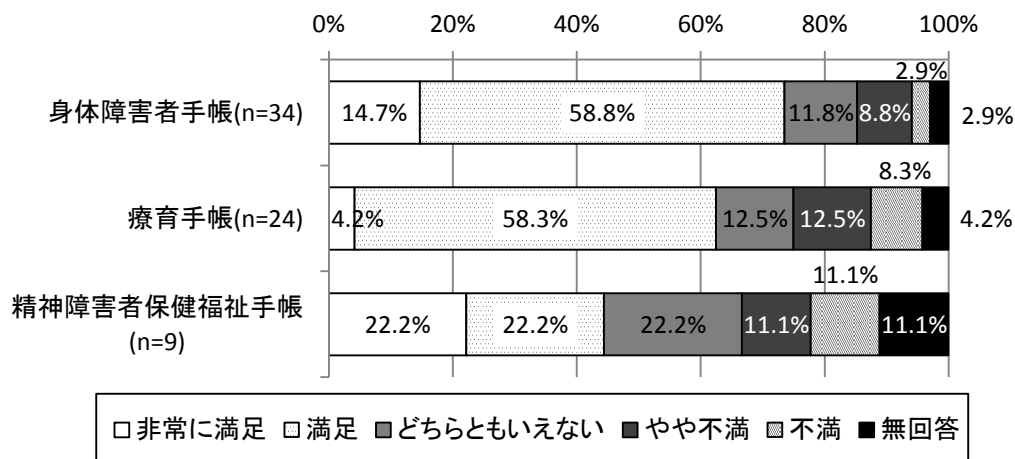
「自宅にて過ごす」が51.3%と最も高く、次いで「勤務先」が13.5%、「通所施設・デイサービス」が6.2%となっています。

問 20 現在利用している施設等での生活での満足度

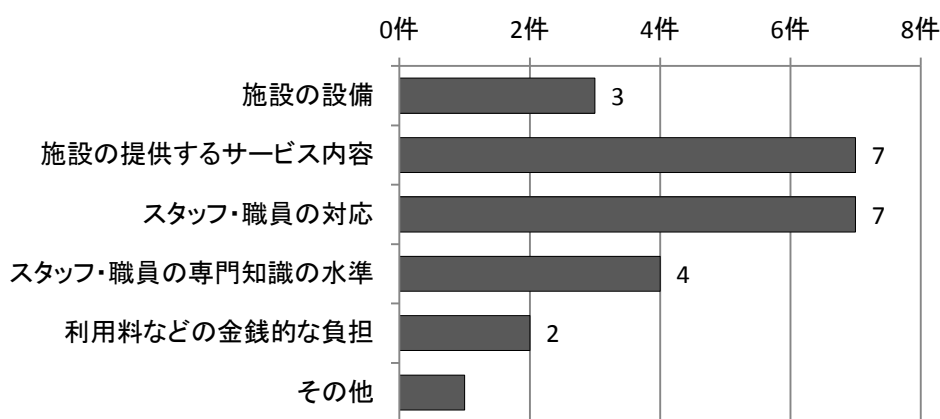
(問 19 で福祉的就労施設や通所施設、入所施設やグループホーム、介護福祉施設、医療機関などを利用していると回答した方)



「満足」が51.9%と最も高く、「非常に満足」と合わせて64.2%が満足と回答しており、「不満（やや不満＋不満）」との回答は18.5%となっています。



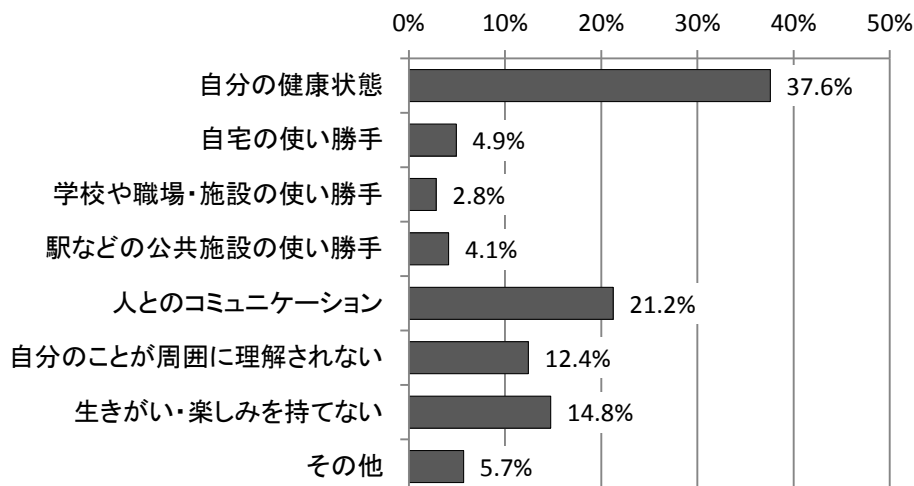
問 21 現在利用している施設等での生活での不満点
 (問 20 で現在利用している施設に不満を感じている方)



「施設の提供するサービス内容」、「スタッフ・職員の対応」がともに7件と最も多く、次いで「スタッフ・職員の専門知識の水準」が4件、「施設の設備」が3件となっています。

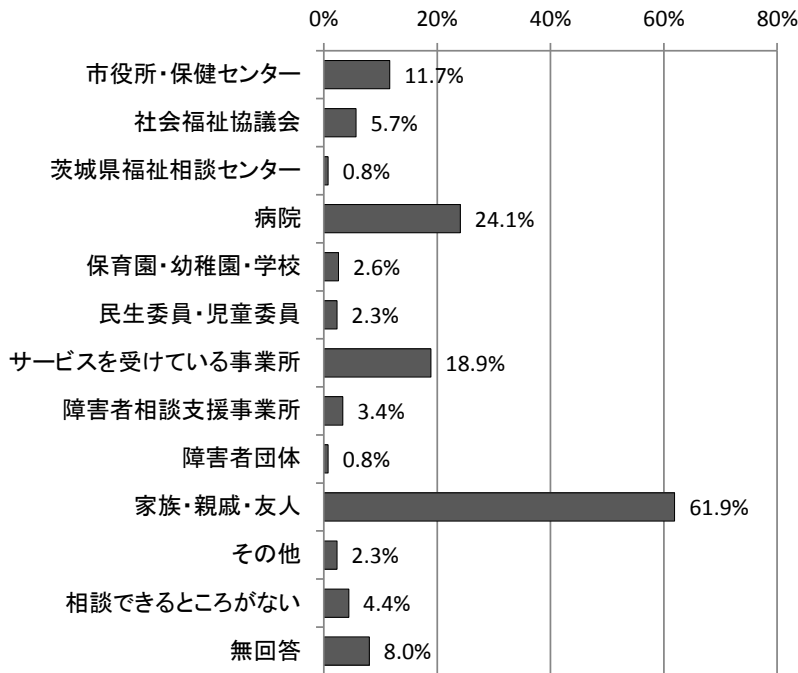
(※回答者数が少ないため、件数で表記)

問 22 日常生活で不満に感じること (複数回答)



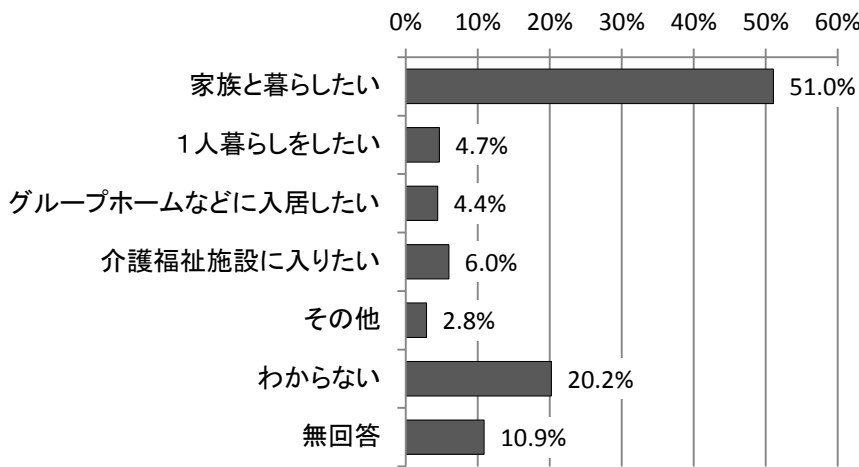
「自分の健康状態」が37.6%と最も高く、次いで「人とのコミュニケーション」が21.2%、「生きがい・楽しみを持ってない」が14.8%となっています。

問 23 あなたは困ったときや、相談したいことがあったとき相談相手（複数回答）

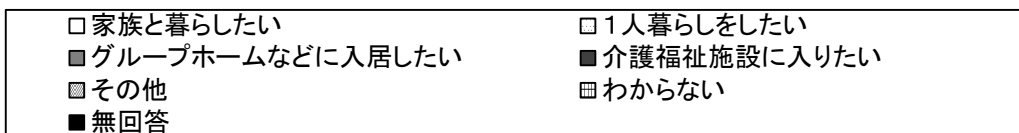
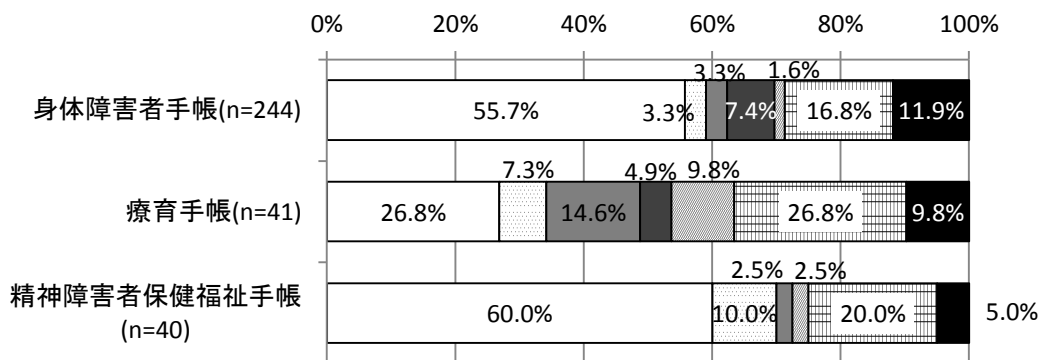


「家族・親戚・友人」が 61.9%と最も高く、次いで「病院」が 24.1%、「サービスを受けている事業所」が 18.9%となっています。

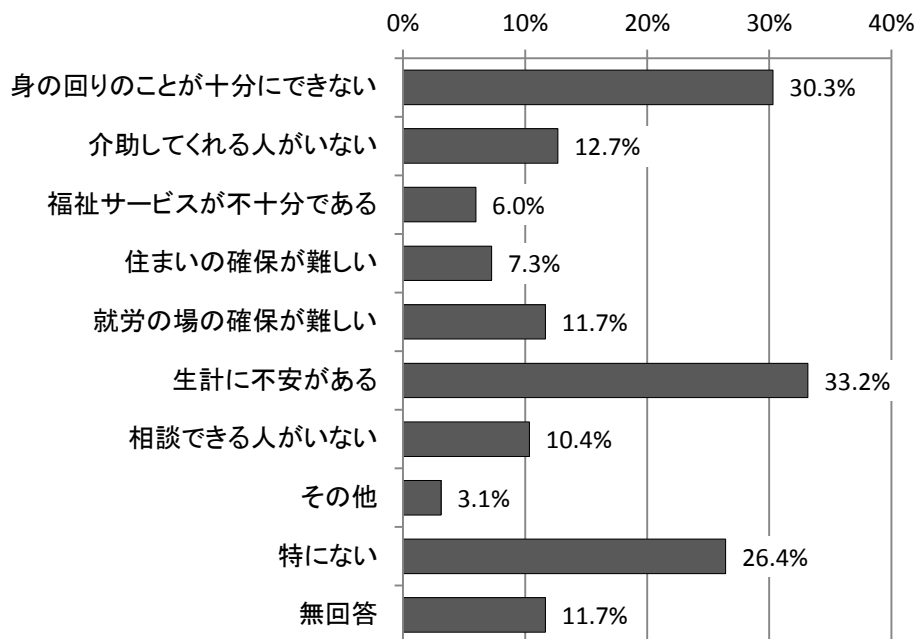
問 24 将来どのように暮らしたいか



「家族と暮らしたい」が 51.0%と最も高く、次いで「介護福祉施設に入りたい」が 6.0%、「1人暮らしをしたい」が 4.7%となっています。



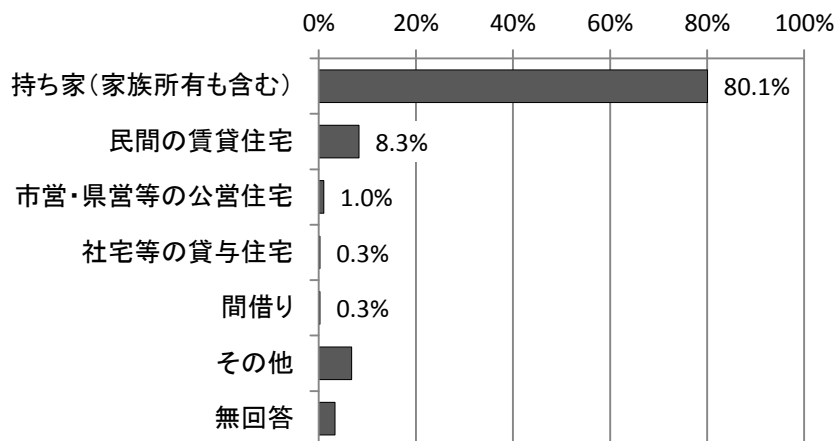
問 25 将来にわたって地域で暮らし続けるための課題（複数回答）



「生計に不安がある」が 33.2%と最も高く、次いで「身の回りのことが十分にできない」が 30.3%、「介助してくれる人がいない」が 12.7%となっています。

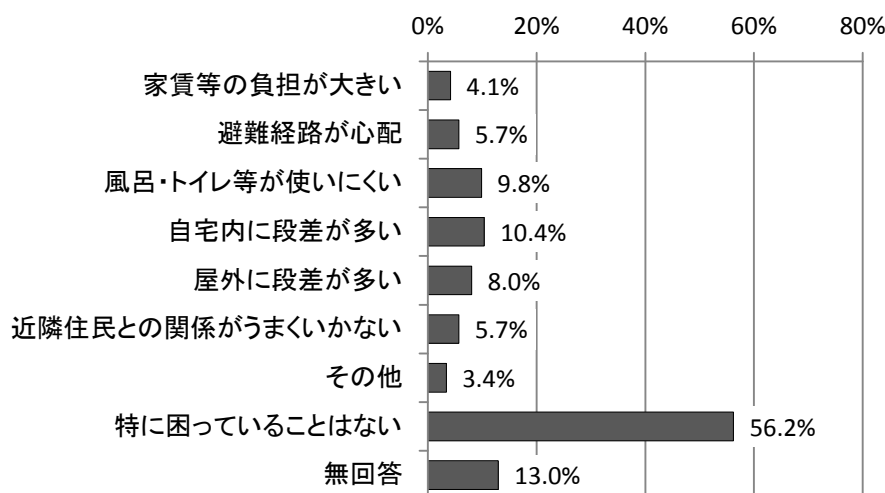
住まいについて

問 26 現在のお住まい



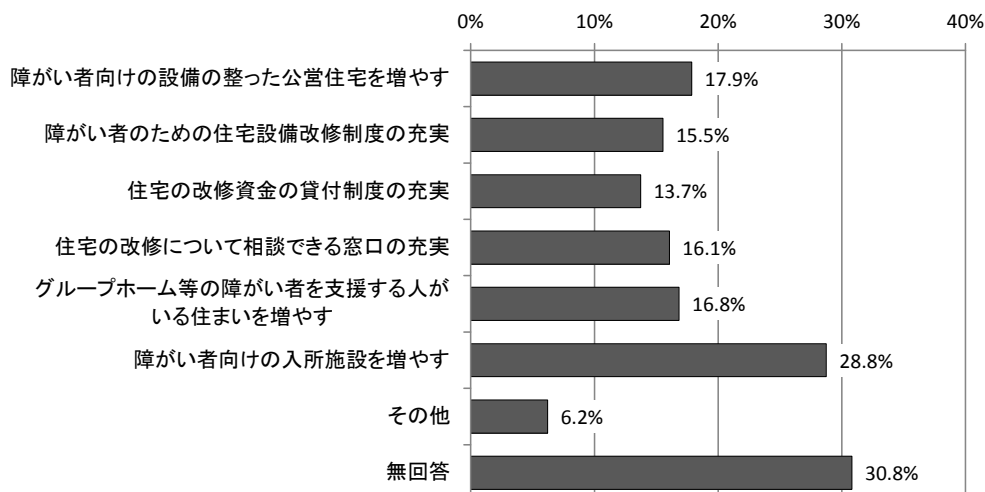
「持ち家（家族所有も含む）」が80.1%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」が8.3%、「市営・県営等の公営住宅」が1.0%となっています。

問 27 お住まいについて困っていること（複数回答）



「自宅内に段差が多い」が10.4%と最も高く、次いで「風呂・トイレ等が使いにくい」が9.8%、「屋外に段差が多い」が8.0%となっています。

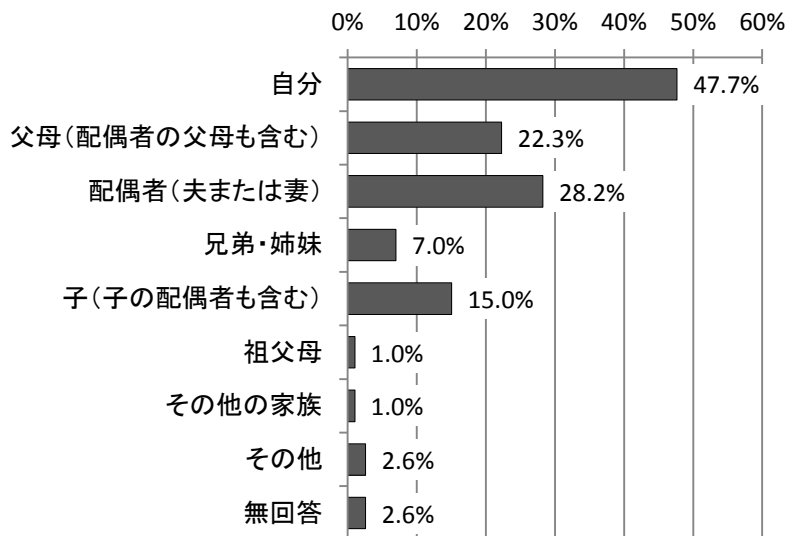
問 28 今後、笠間市の住宅施策に期待すること（複数回答）



「障がい者向けの入所施設を増やす」が28.8%と最も高く、次いで「障がい者向けの設備の整った公営住宅を増やす」が17.9%、「グループホーム等の障がい者を支援する人がいる住まいを増やす」が16.8%となっています。

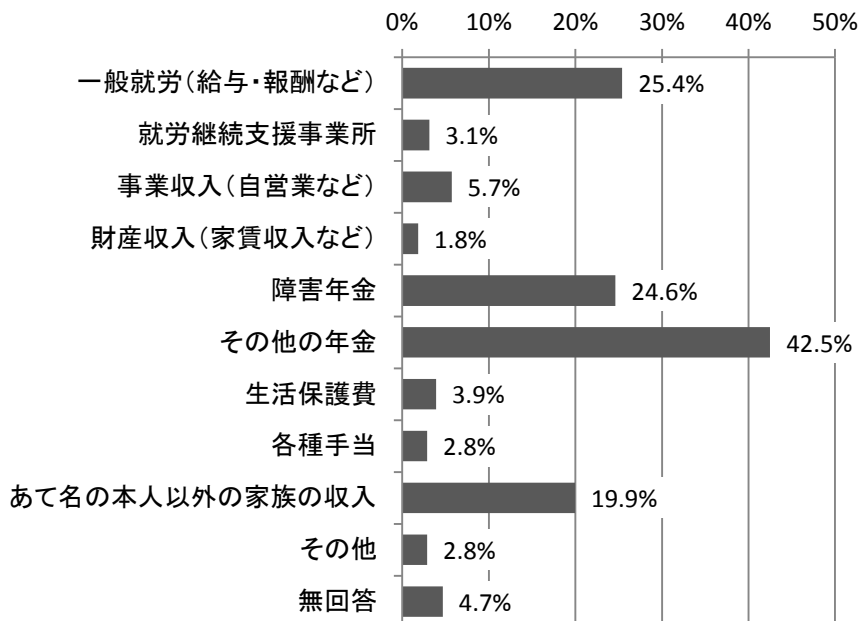
生計について

問 29 世帯の生計を支えている方（複数回答）



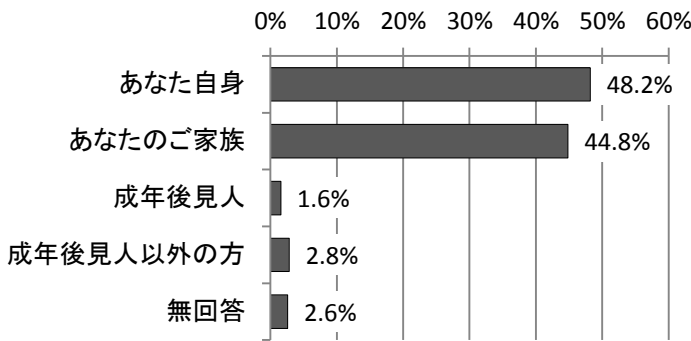
「自分」が 47.7%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 28.2%、「父母（配偶者の父母も含む）」が 22.3%となっています。

問 30 世帯収入の種類（複数回答）

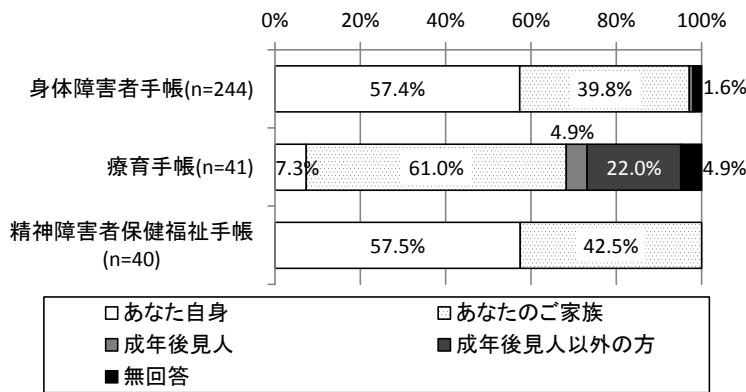


「その他の年金」が 42.5%と最も高く、次いで「一般就労（給与・報酬など）」が 25.4%、「障害年金」が 24.6%となっています。

問 31 あなたのお金を管理されているのは主にどなたですか。

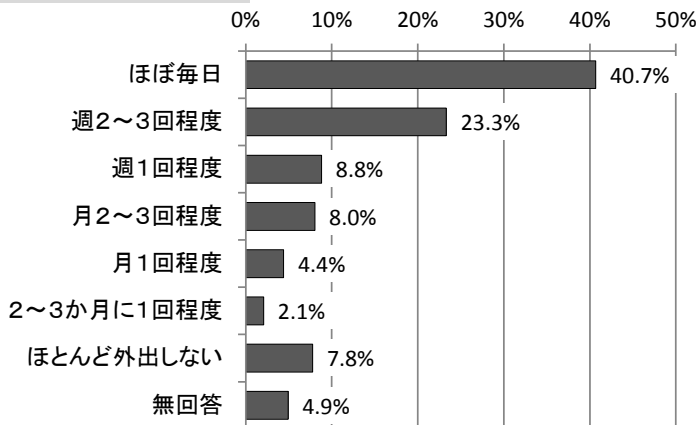


「あなた自身」が48.2%と最も高く、次いで「あなたのご家族」が44.8%となっています。

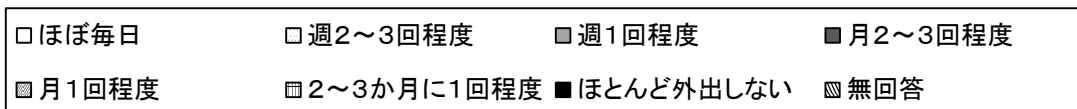
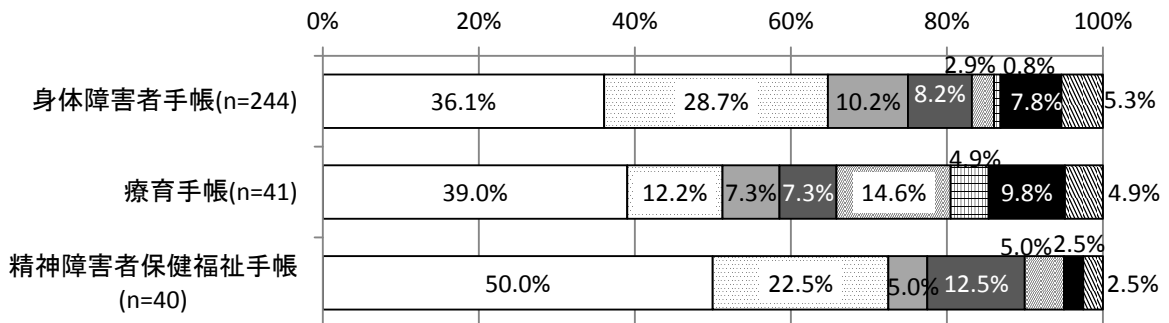


外出について

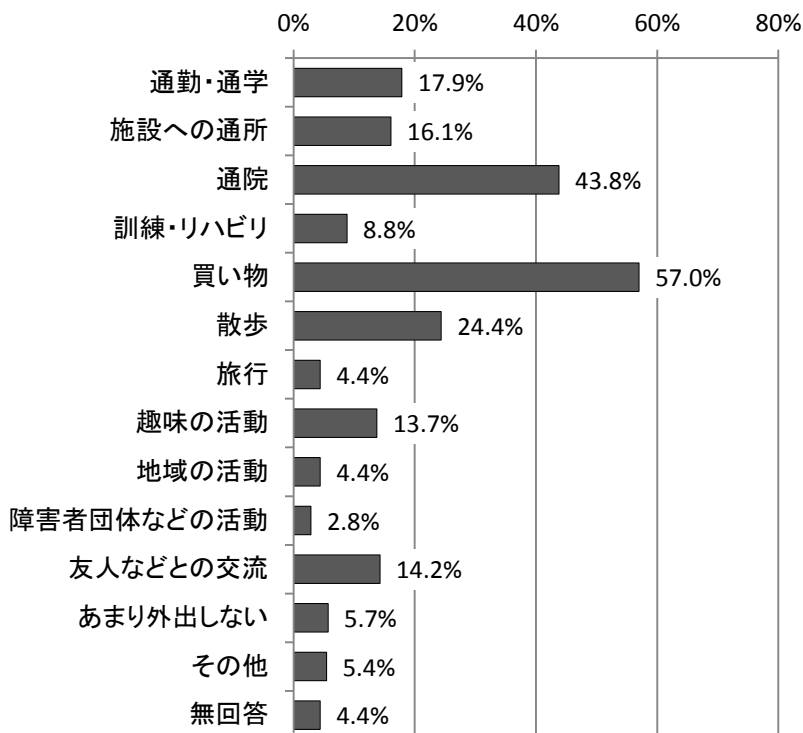
問 32 外出の頻度



「ほぼ毎日」が40.7%と最も高く、次いで「週2~3回程度」が23.3%、「週1回程度」が8.8%となっています。

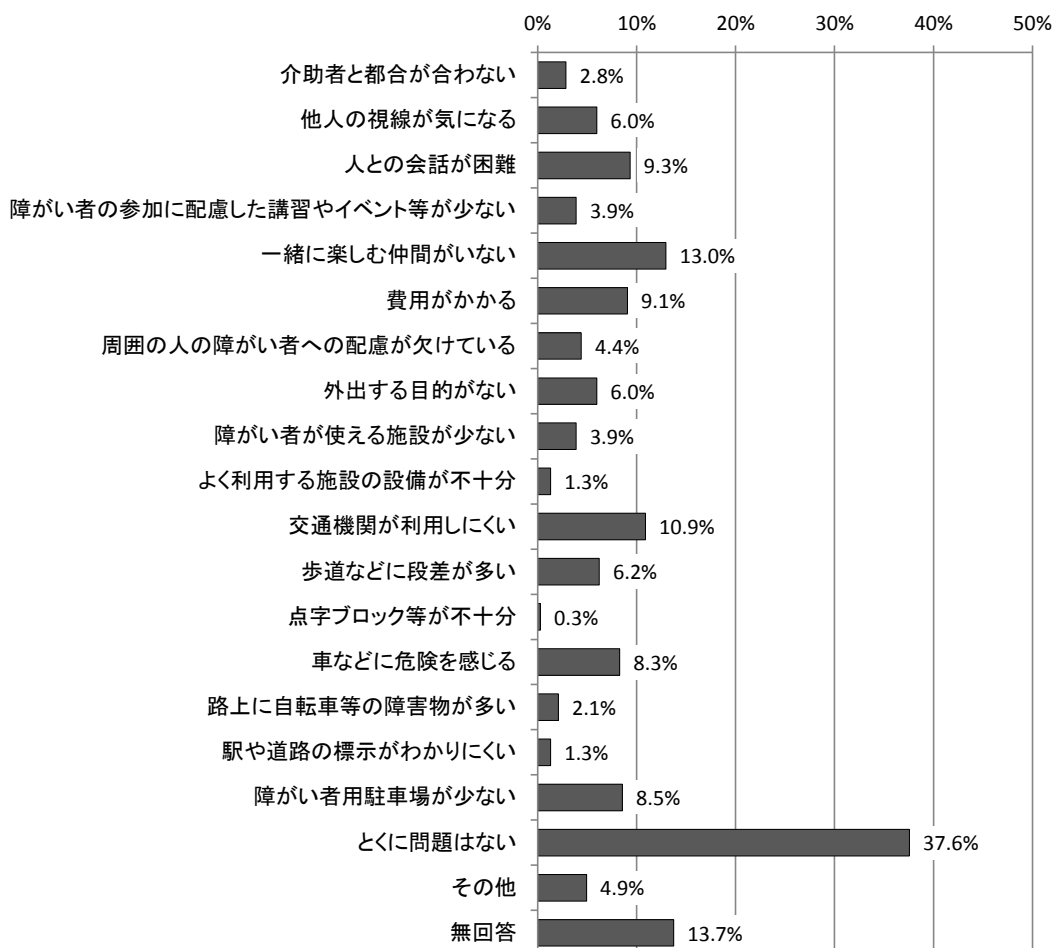


問 33 外出の目的（複数回答）



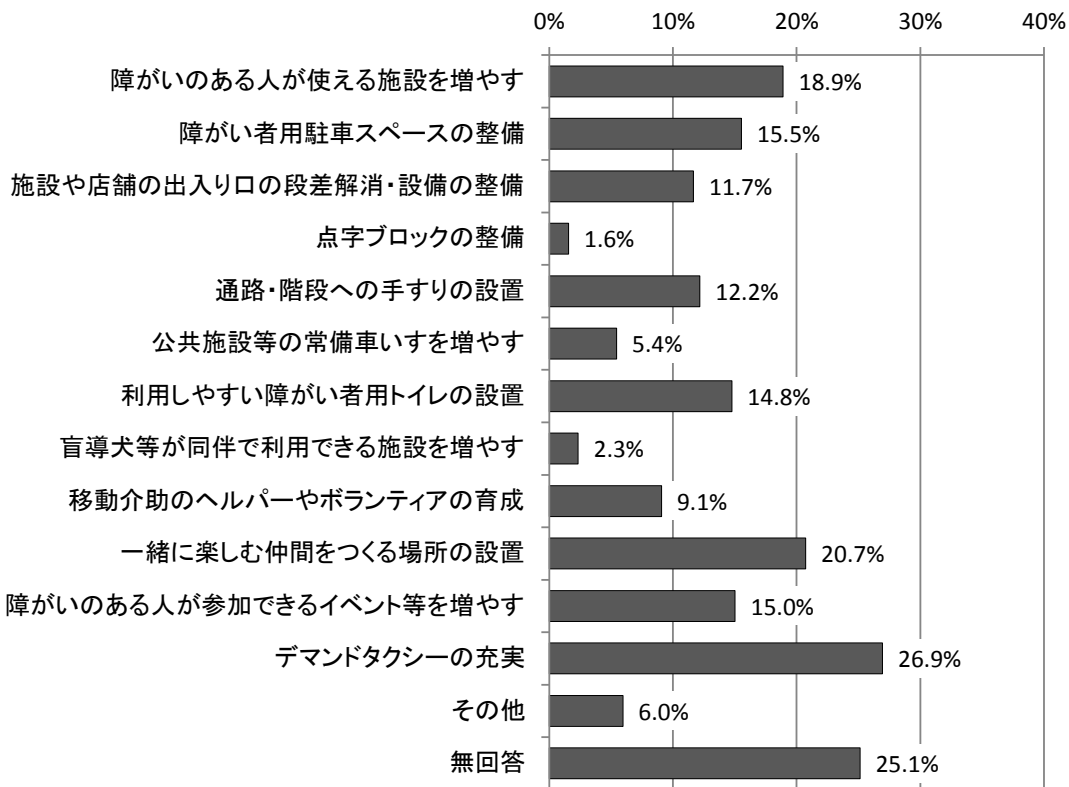
「買い物」が57.0%と最も高く、次いで「通院」が43.8%、「散歩」が24.4%となっています。

問 34 外出時に困ること（複数回答）



「一緒に楽しむ仲間がいない」が13.0%と最も高く、次いで「交通機関が利用しにくい」が10.9%、「人との会話が困難」が9.3%となっています。

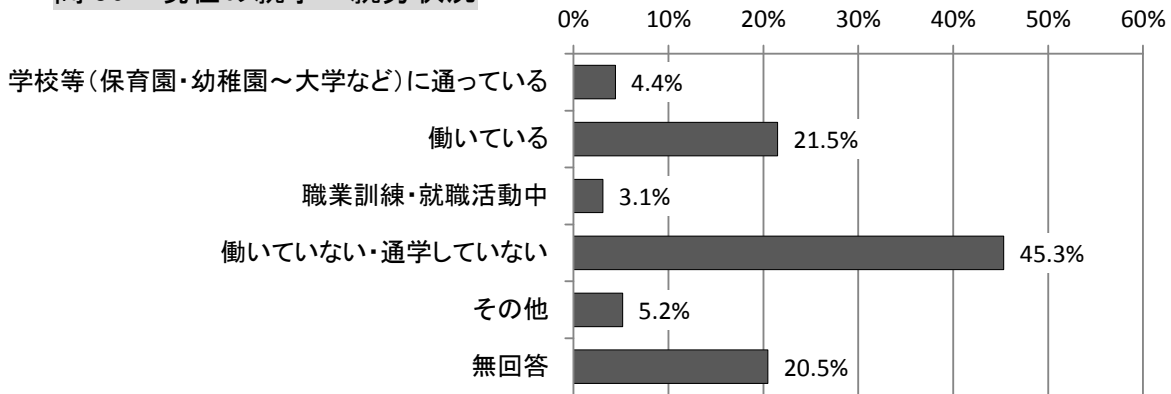
問 35 外出をしやすくするために笠間市の施策に期待すること（複数回答）



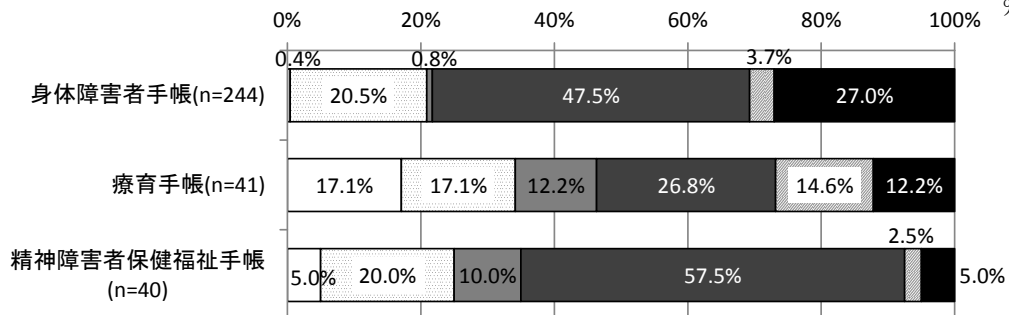
「デマンドタクシーの充実」が26.9%と最も高く、次いで「一緒に楽しむ仲間をつくる場所の設置」が20.7%、「障がいのある人が使える施設を増やす」が18.9%となっています。

就学・就労について

問 36 現在の就学・就労状況



「働いていない・通学していない」が45.3%と最も高く、次いで「働いている」が21.5%となっています。



- 学校等（保育園・幼稚園～大学など）に通っている
- 働いている
- 職業訓練・就職活動中
- 働いていない・通学していない
- その他
- 無回答

問 37 通園・通学に際して困っていること（複数回答）

（問 36 で学校等（保育園・幼稚園～大学など）に通っていると回答した方）

項目	度数	構成比
自分の健康上の問題で通うのが大変	0	0.0%
交通手段等の問題で通うのが大変	1	5.9%
保育内容や授業内容についていけない	0	0.0%
トイレや階段などの設備が不十分	1	5.9%
学校内・園内での介助が不十分	1	5.9%
教職員の配慮が足りない	1	5.9%
周囲の友人の理解が得られない	1	5.9%
受け入れてくれる学校が少ない	1	5.9%
普通学級に入れられない	1	5.9%
その他	1	5.9%
特に困っていることはない	11	64.7%
無回答	1	5.9%
回答者数	17	-
非該当	369	-
合計	386	-

「特に困っていることはない」が 11 件と多くなっています。

問 38 学校等を修了したあとの進路

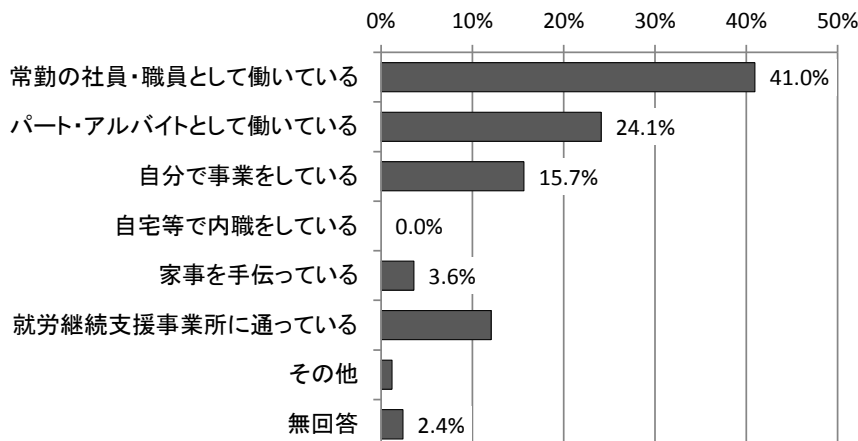
（問 36 で学校等（保育園・幼稚園～大学など）に通っていると回答した方）

項目	度数	構成比
高校・短大・大学へ進学したい	5	29.4%
専門学校・専修学校へ進学したい	0	0.0%
高等技術専門学校へ進学したい	0	0.0%
職業能力開発校へ進学したい	0	0.0%
就労継続支援事業所や通所施設に通いたい	6	35.3%
就職したい	3	17.6%
家の仕事や家事の手伝いをしたい	0	0.0%
その他	0	0.0%
まだ考えていない	2	11.8%
無回答	1	5.9%
回答者数	17	100.0%
非該当	369	-
合計	386	-

「就労継続支援事業所や通所施設に通いたい」が 6 件と最も多く、次いで「高校・短大・大学へ進学したい」が 5 件となっています。

問 39 就業の形態

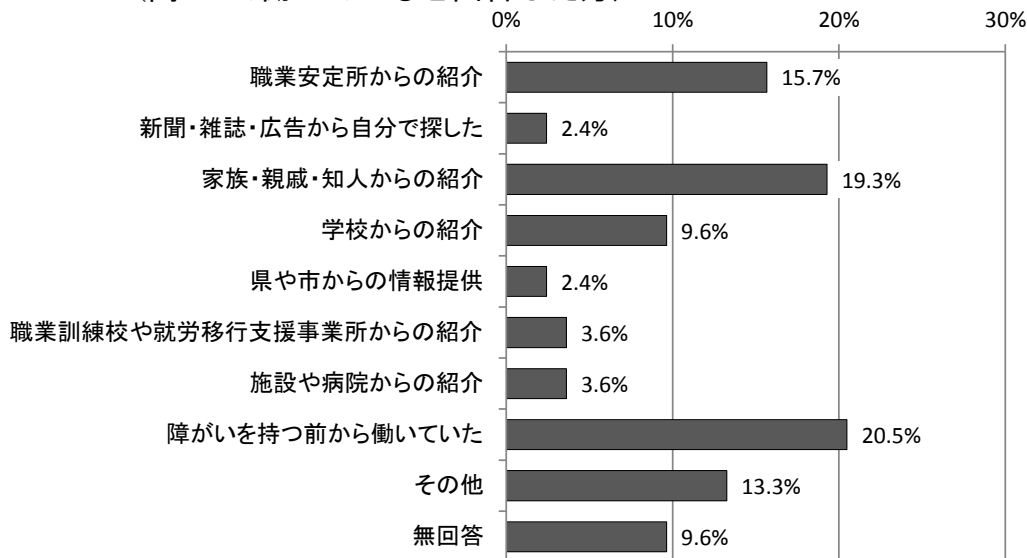
（問 36 で働いていると回答した方）



「常勤の社員・職員として働いている」が 41.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイトとして働いている」が 24.1%、「自分で事業をしている」が 15.7%となっています。

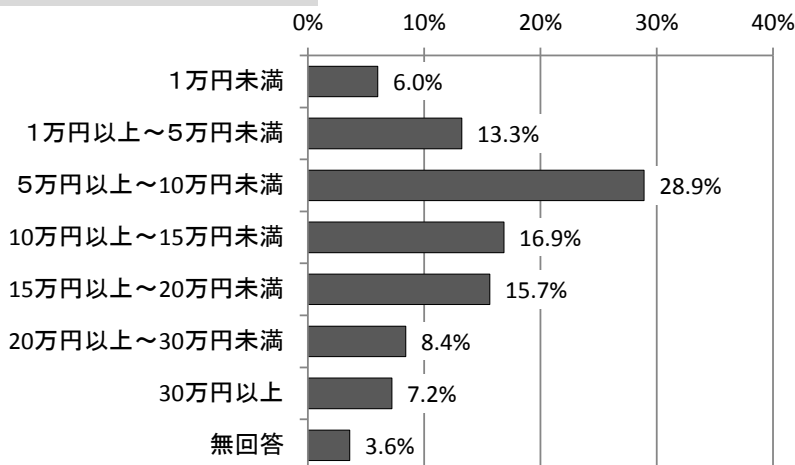
問 40 現在の仕事はどのような方法で見つけましたか。

(問 36 で働いていると回答した方)



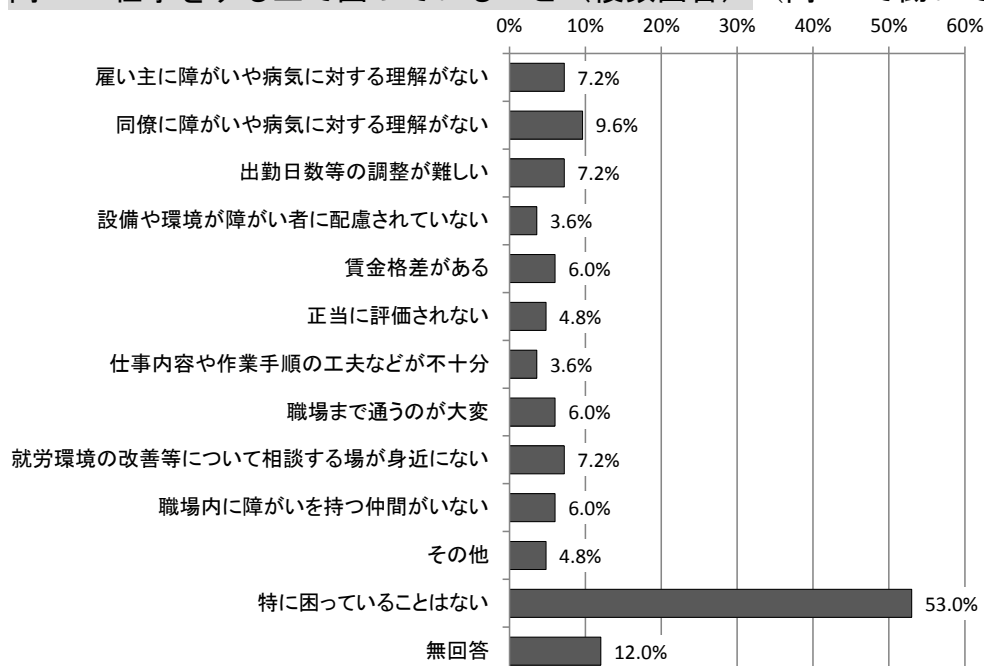
「障がいを持つ前から働いていた」が20.5%と最も高く、次いで「家族・親戚・知人からの紹介」が19.3%、「職業安定所からの紹介」が15.7%となっています。

問 41 現在の仕事の月収 (問 36 で働いていると回答した方)



「5万円以上～10万円未満」が28.9%と最も高く、次いで「10万円以上～15万円未満」が16.9%、「15万円以上～20万円未満」が15.7%となっています。

問 42 仕事をする上で困っていること (複数回答) (問 36 で働いていると回答した方)

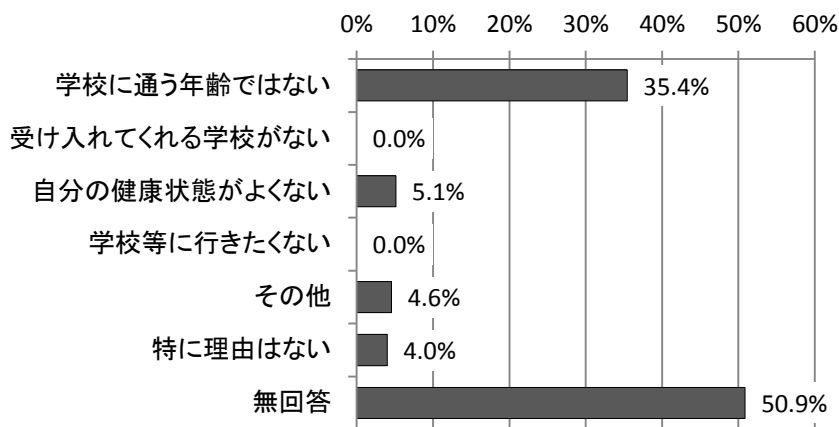


「同僚に障がいや病気に対する理解がない」が9.6%と最も高く、次いで「雇い主に障がいや病気に対する理解がない」、「出勤日数等の調整が難しい」、「就労環境の改善等について相談する場が身近にない」がそれぞれ7.2%となっています。

問 43 学校等に通わない主な理由

(問 36 で働いていない、通学していないと回答した方)

(職業訓練や就職活動をしている方はお答えいただきなくてかまいません)

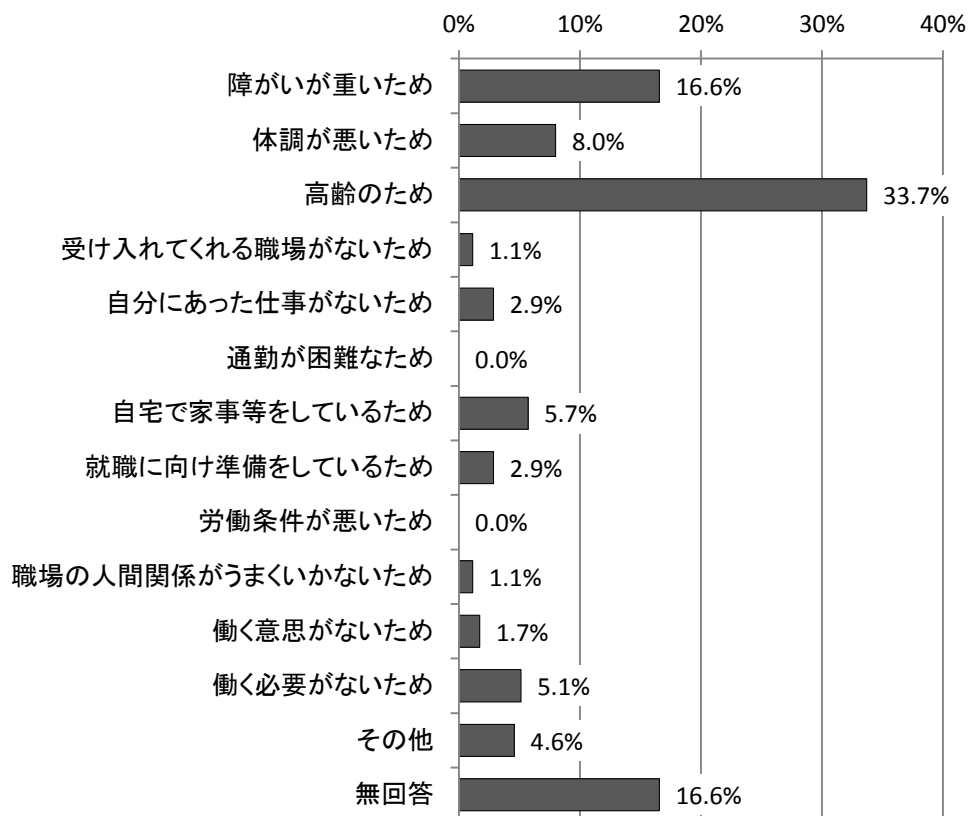


「学校に通う年齢ではない」が 35.4%と最も高く、次いで「自分の健康状態がよくない」が 5.1%となっています。

問 44 現在仕事をしていない主な理由

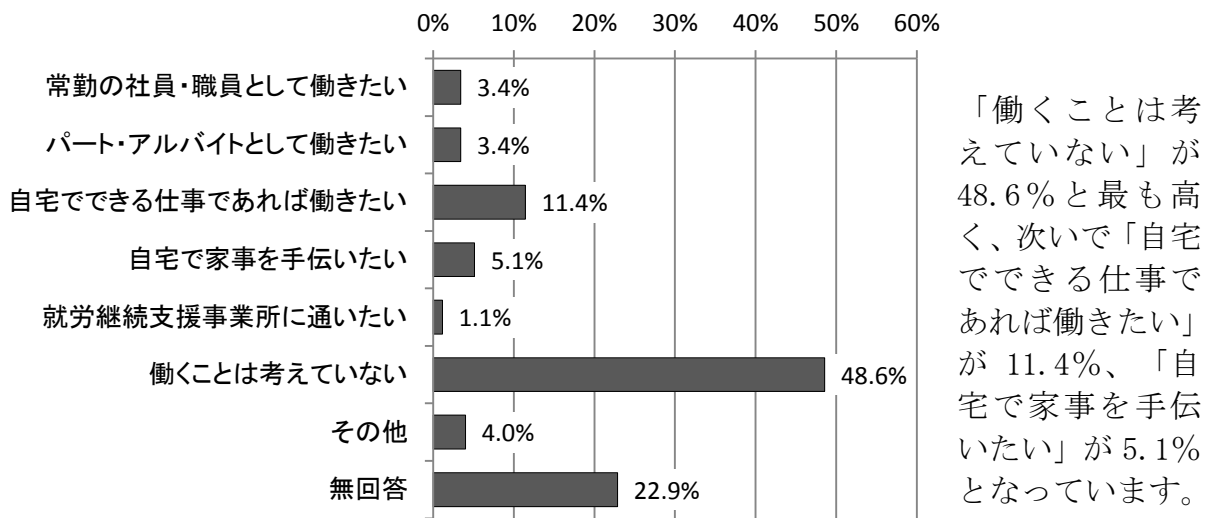
(問 36 で働いていない、通学していないと回答した方)

(職業訓練や就職活動をしている方はお答えいただきなくてかまいません)

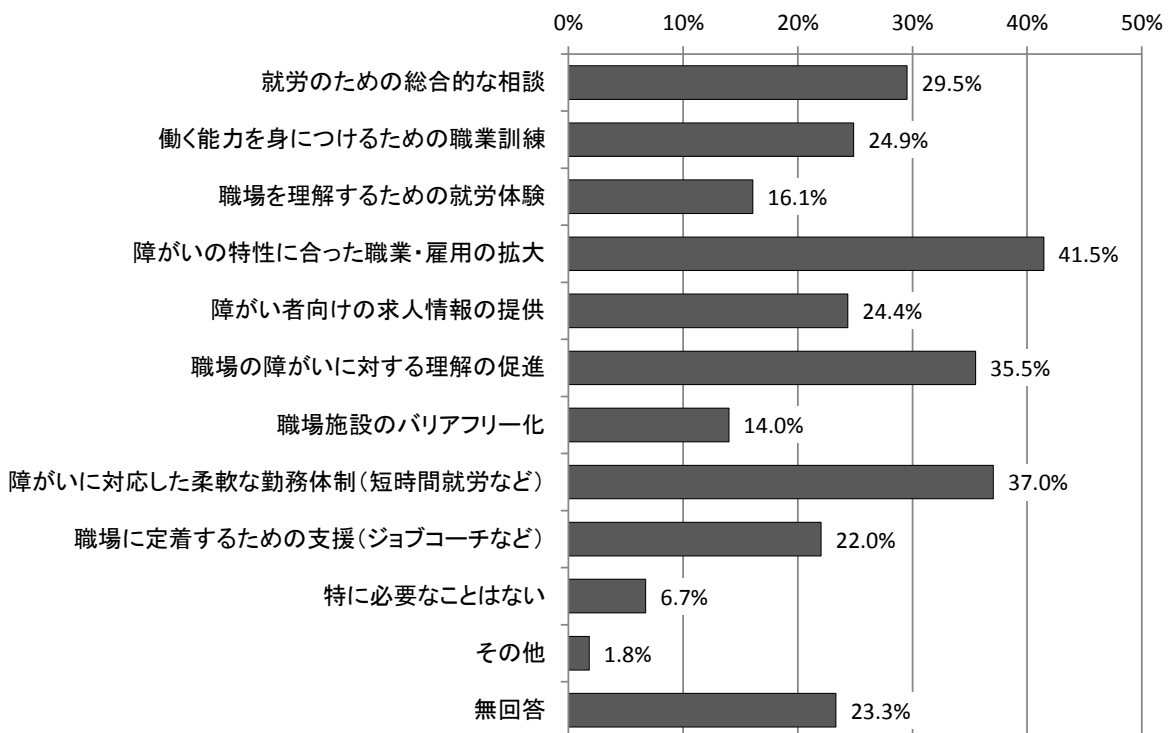


「高齢のため」が 33.7%と最も高く、次いで「障がいがあるため」が 16.6%、「体調が悪いため」が 8.0%となっています。

問 45 現在働いていない方は、今後はどのように働きたいか
 (問 36 で働いていない、通学していないと回答した方)
 (職業訓練や就職活動をしている方はお答えいただかなくてかまいません)



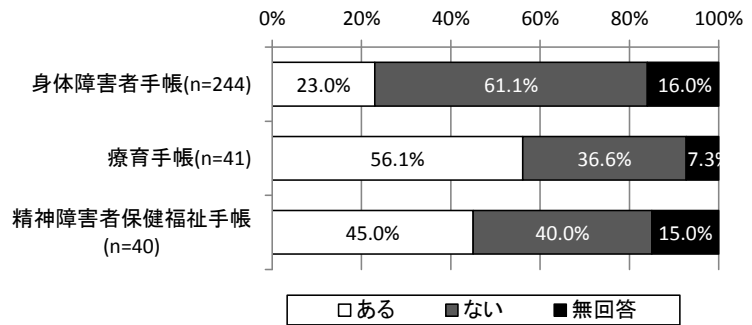
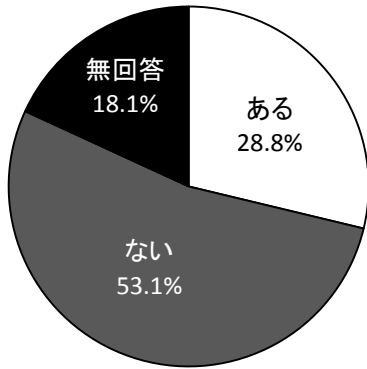
問 46 障がいのある人が企業などで働くためには、どのような支援が必要か (複数回答)



「障がいの特性に合った職業・雇用の拡大」が 41.5% と最も高く、次いで「障がいに対応した柔軟な勤務体制 (短時間就労など)」が 37.0%、「職場の障がいに対する理解の促進」が 35.5% となっています。

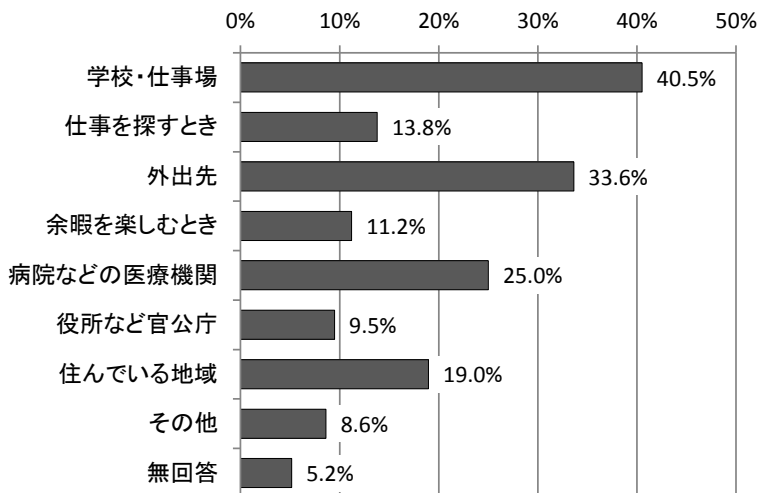
権利擁護や差別について

問 47 障がいがあることで差別や嫌な思いをしたことがありますか。



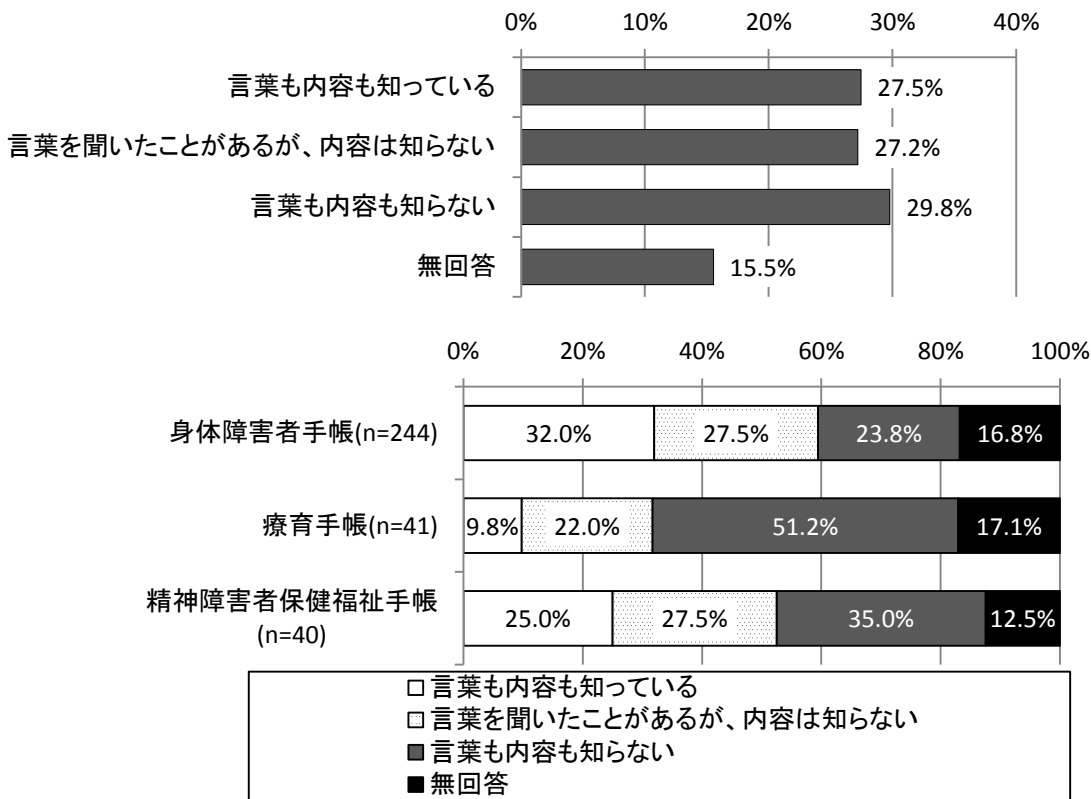
「ない」が53.1%、「ある」が28.8%となっています。

問 48 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(複数回答)
(問 47 で差別や嫌な思いをされたことがあると回答された方)



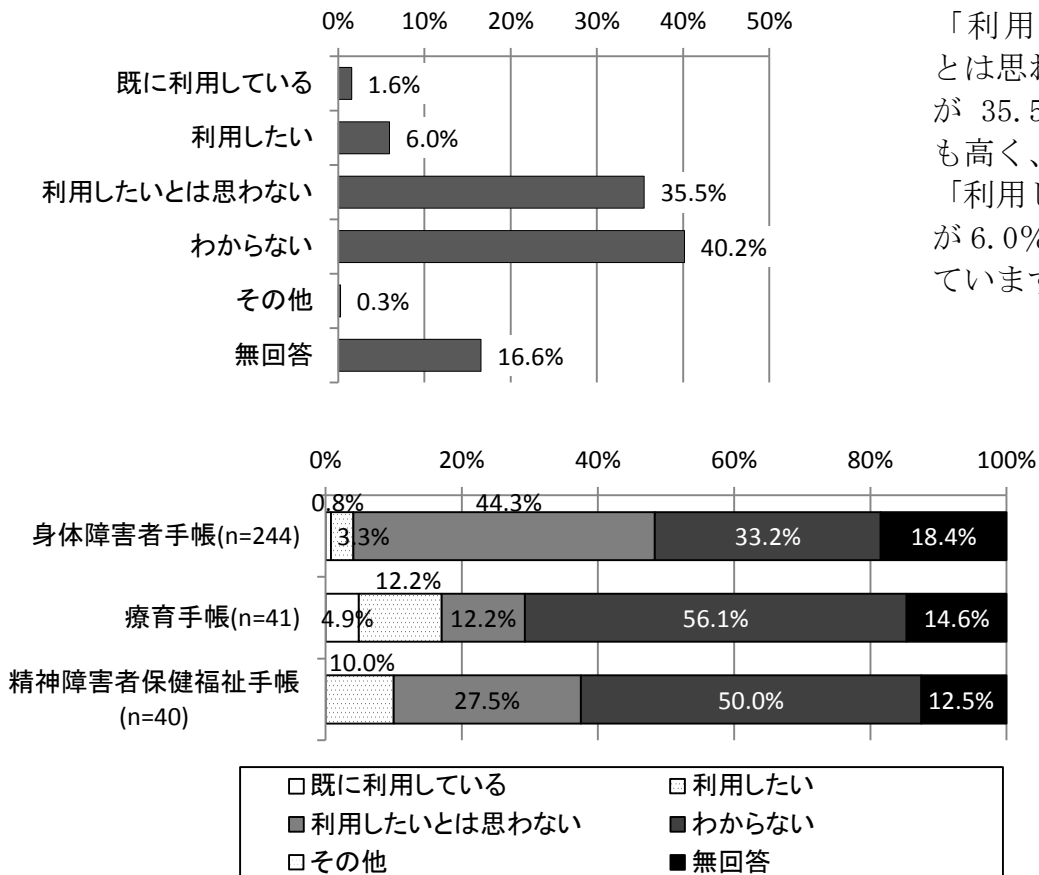
「学校・仕事場」が40.5%と最も高く、次いで「外出先」が33.6%、「病院などの医療機関」が25.0%となっています。

問 49 「成年後見制度」について



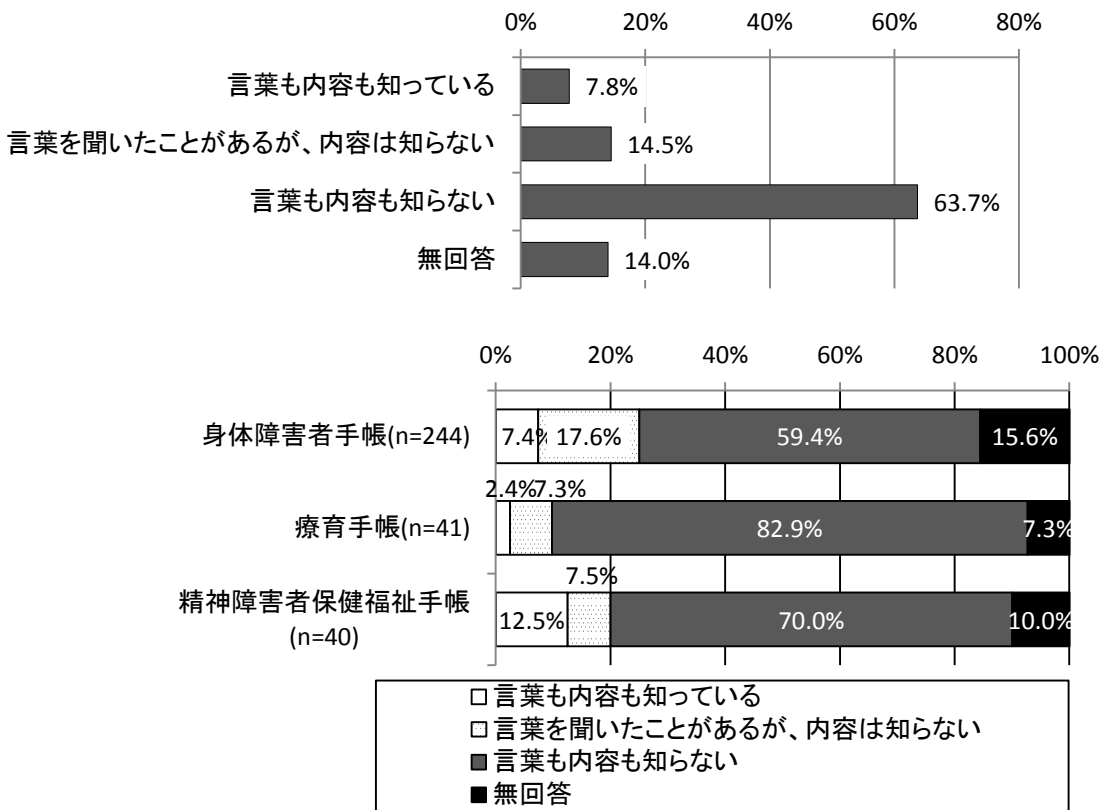
「言葉も内容も知らない」が29.8%、「言葉も内容も知っている」が27.5%、「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」が27.2%となっています。

問 50 「成年後見制度」を利用したいと思うか



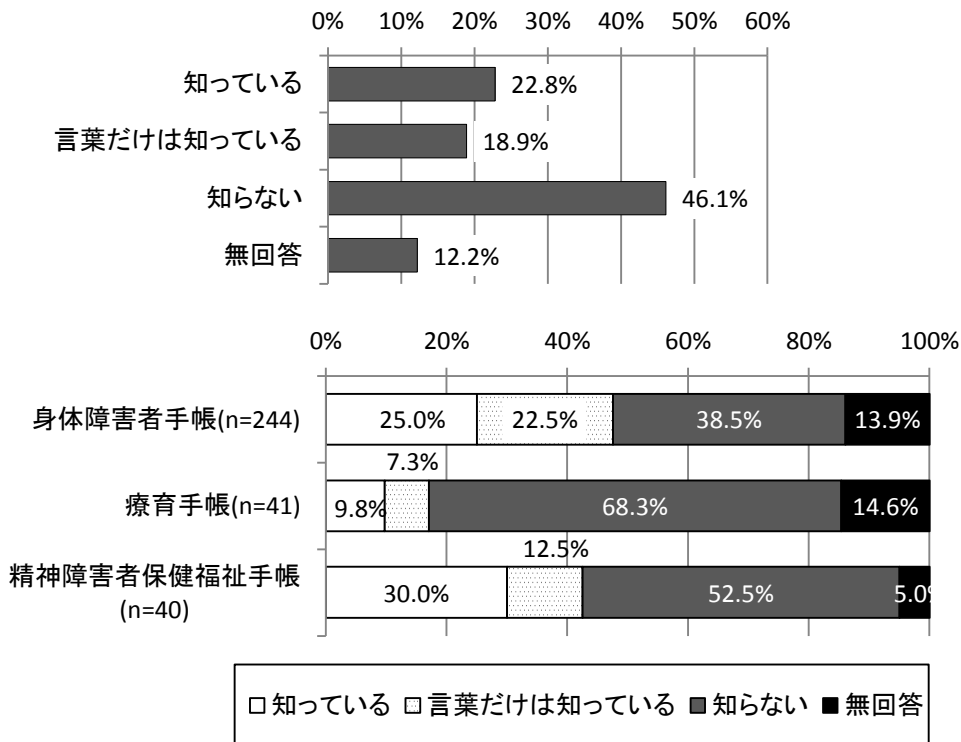
「利用したいとは思わない」が35.5%と最も高く、次いで「利用したい」が6.0%となっています。

問 51 平成 28 年 4 月 1 日に施行された「障害者差別解消法」で規定されている「合理的配慮」という言葉を知っていますか。



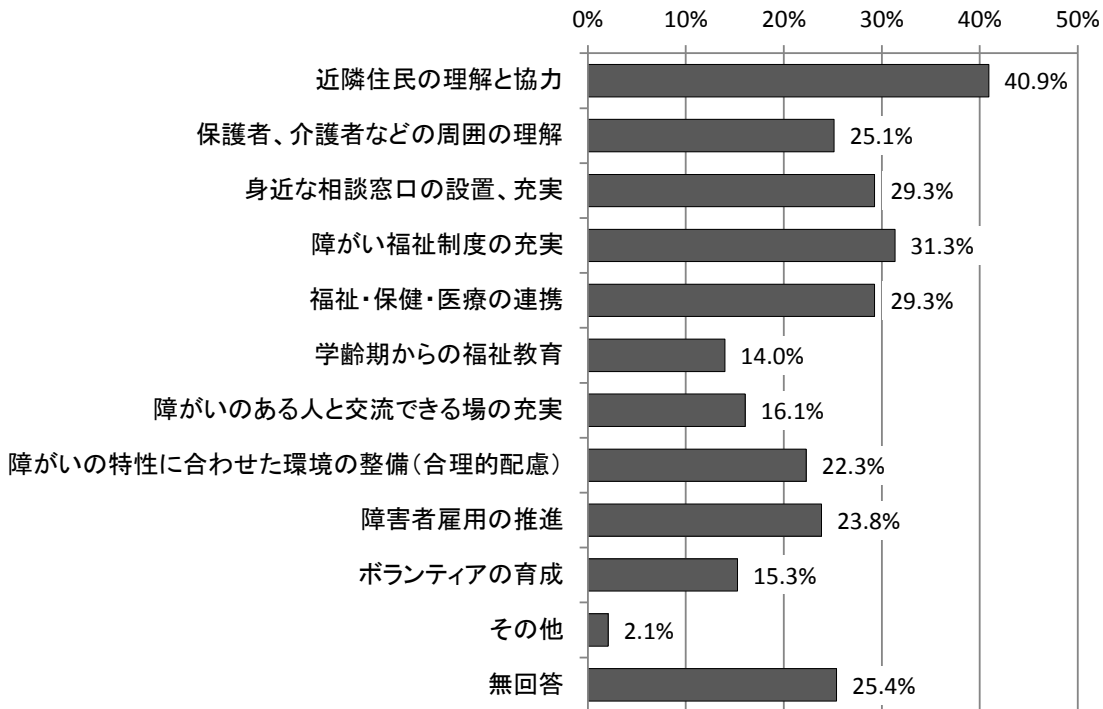
「言葉も内容も知らない」が 63.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 14.5%、「言葉も内容も知っている」が 7.8%となっています。

問 53 「障がいのある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らす」ことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。



「知らない」が 46.1%と最も高く、次いで「知っている」が 22.8%、「言葉だけは知っている」が 18.9%となっています。

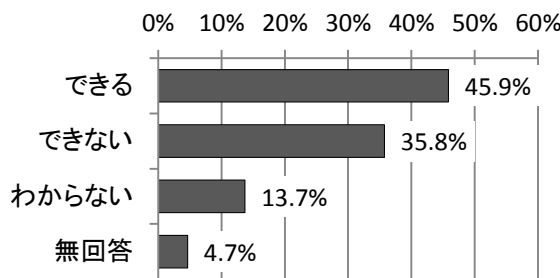
問 54 「共生社会」を実現するために、必要なこと（複数回答）



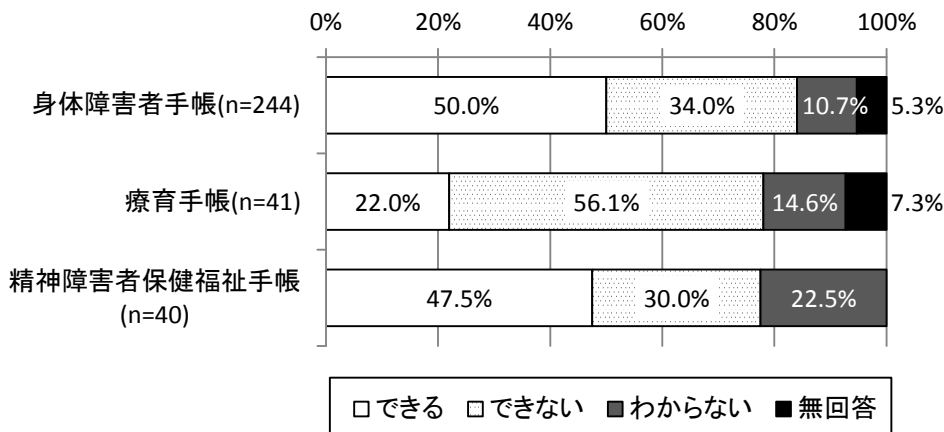
「近隣住民の理解と協力」が40.9%と最も高く、次いで「障がい福祉制度の充実」が31.3%、「身近な相談窓口の設置、充実」、「福祉・保健・医療の連携」がともに29.3%となっています。

緊急時の対応について

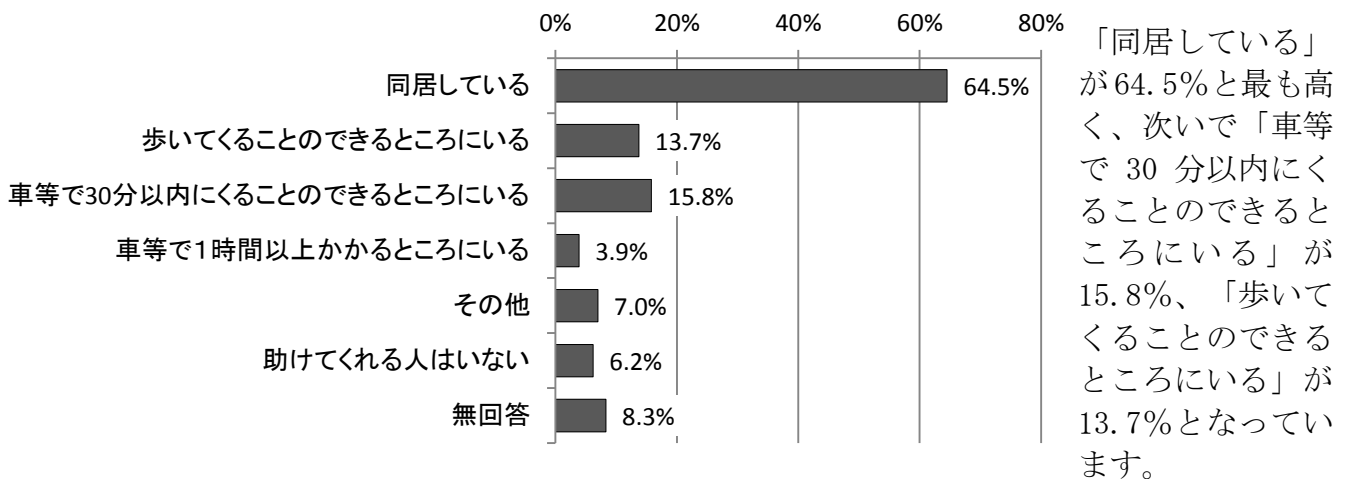
問 55 災害時に1人で避難できますか。



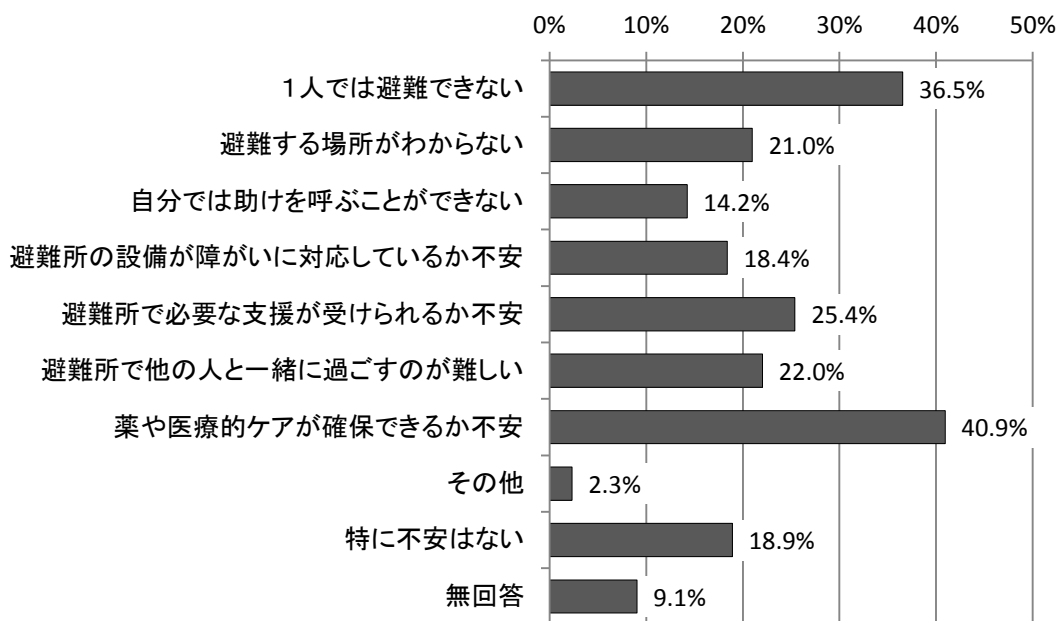
「できる」が45.9%、「できない」が35.8%、「わからない」が13.7%となっています。



問 56 緊急に避難が必要なとき、あなたを助けてくれる人は近くにいますか。(複数回答)

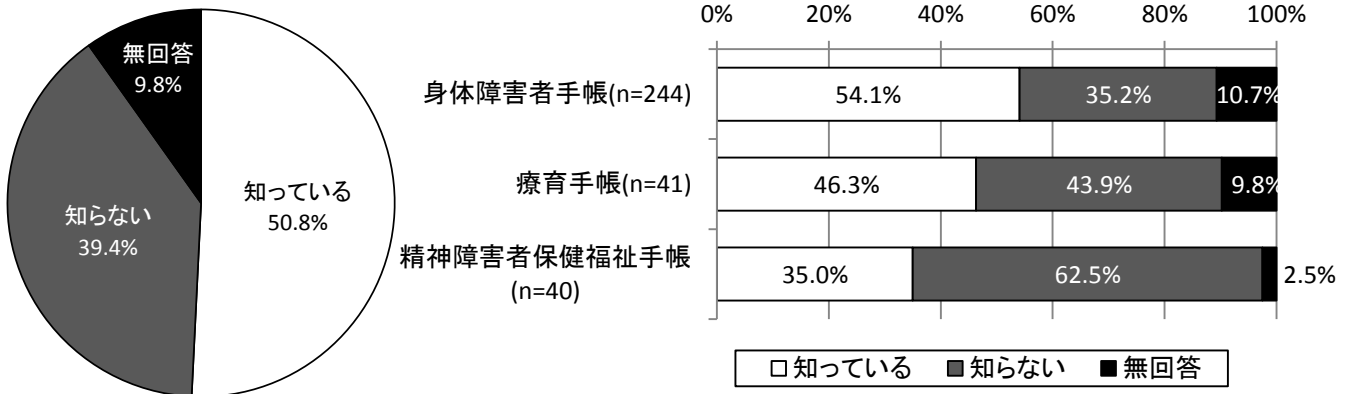


問 57 地震などの災害が起きたときに感じている不安(複数回答)



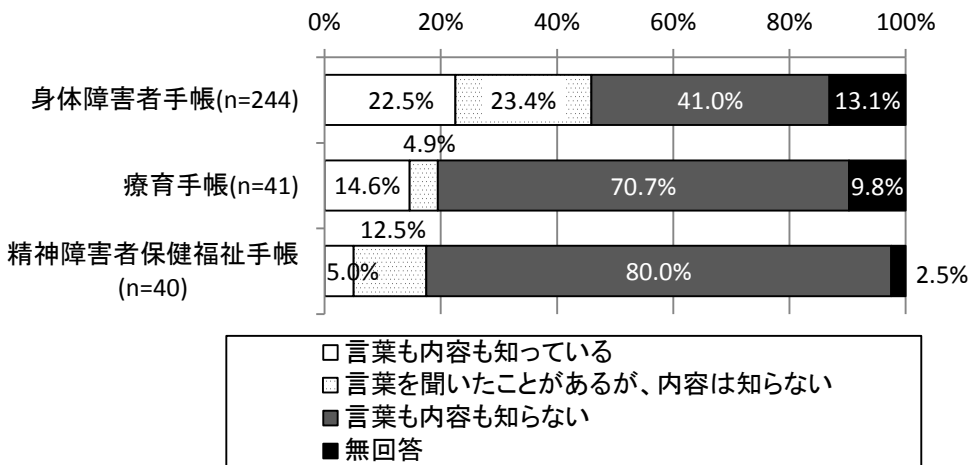
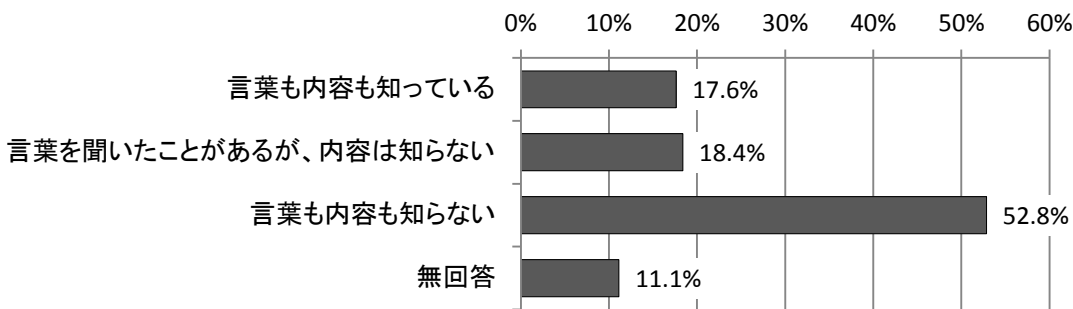
災害時の不安なことについては、「薬や医療的ケアが確保できるか不安」が40.9%と最も高く、次いで「1人では避難できない」が36.5%、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が25.4%となっています。

問 58 災害が発生したときに避難するところを知っているか



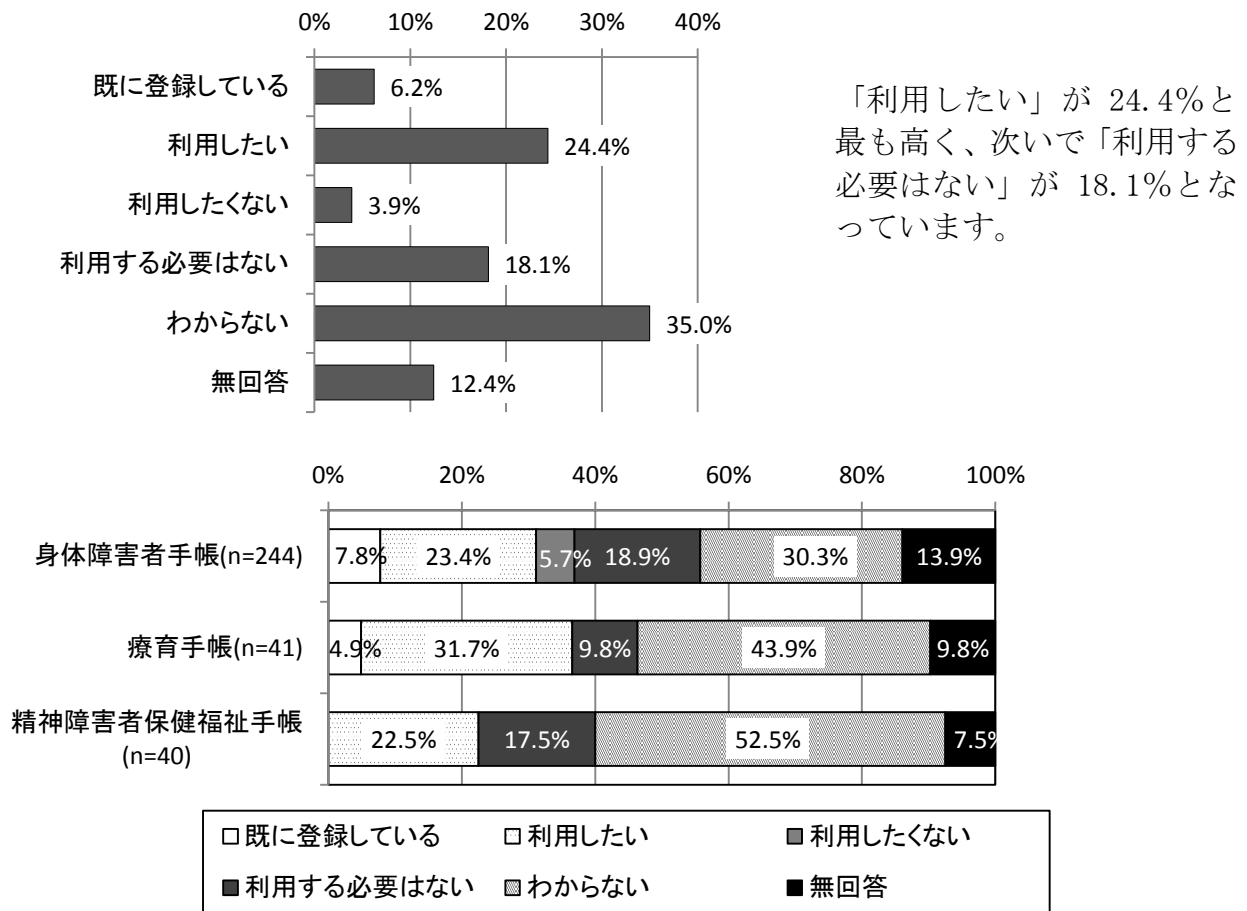
「知っている」が 50.8%、「知らない」が 39.4%となっています。

問 59 「災害時避難行動要支援者登録制度」を知っているか

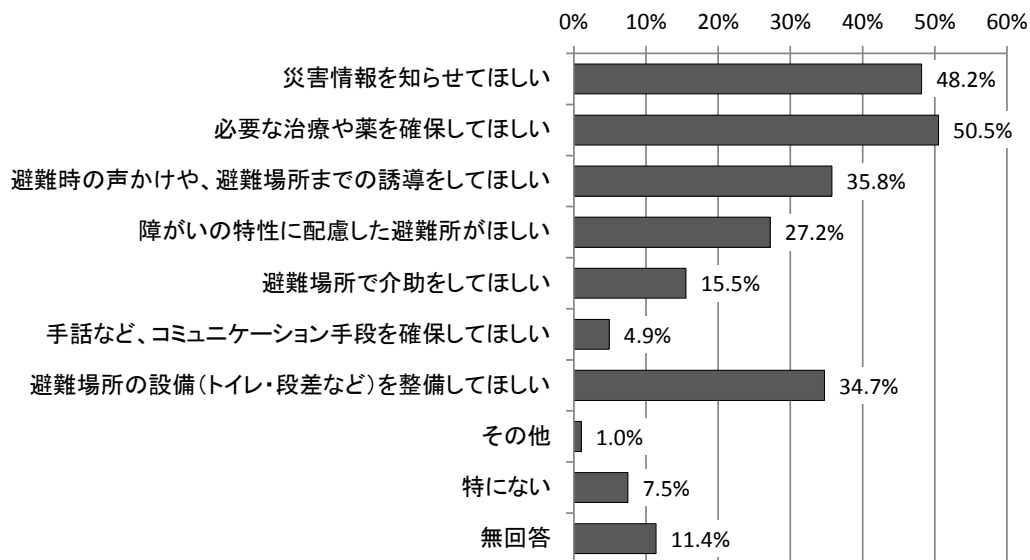


「言葉も内容も知らない」が 52.8%、「言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 18.4%、「言葉も内容も知っている」が 17.6%となっています。

問 60 「災害時避難行動要支援者登録制度」を利用したいか

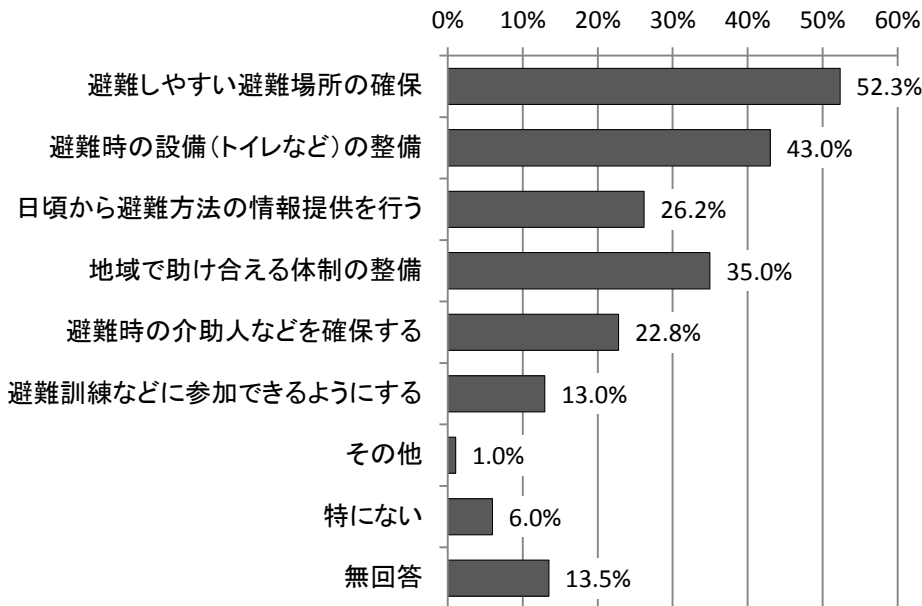


問 61 災害にあった時、してほしいこと（複数回答）



「必要な治療や薬を確保してほしい」が 50.5%と最も高く、次いで「災害情報を知らせてほしい」が 48.2%、「避難時の声かけや、避難場所までの誘導をしてほしい」が 35.8%となっています。

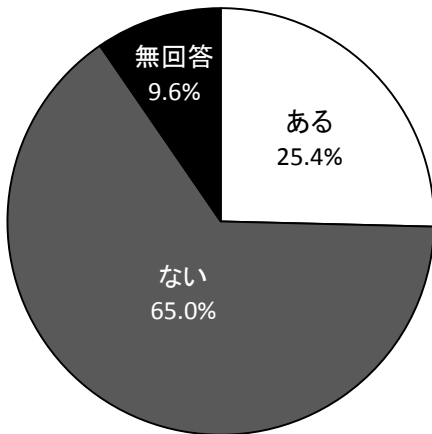
問 62 災害時など、緊急に避難しなければならなくなったときに備えて、今後どのような対策が必要だと思うか（複数回答）



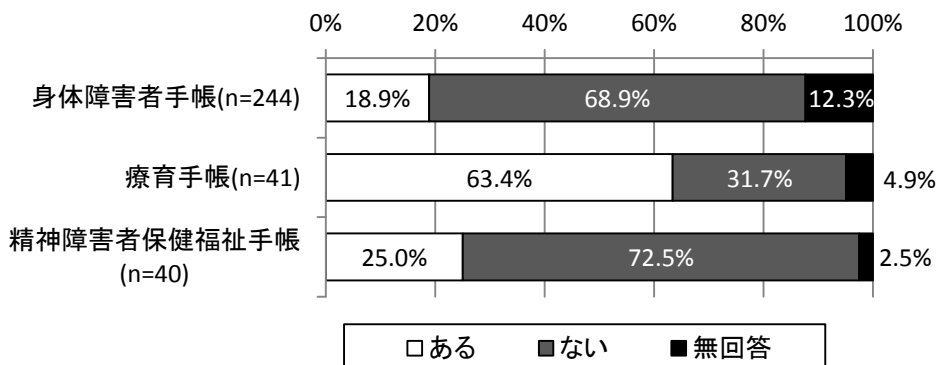
「避難しやすい避難場所の確保」が52.3%と最も高く、次いで「避難時の設備(トイレなど)の整備」が43.0%、「地域で助け合える体制の整備」が35.0%となっています。

障がい者福祉サービスについて

問 63 あなたは、問 64 の笠間市障がい福祉サービスを利用したことがありますか。



「ない」が65.0%、「ある」が25.4%となっています。



問 64 障がい者福祉サービスのうち、この1年間に利用したことがあるサービス・事業の満足度

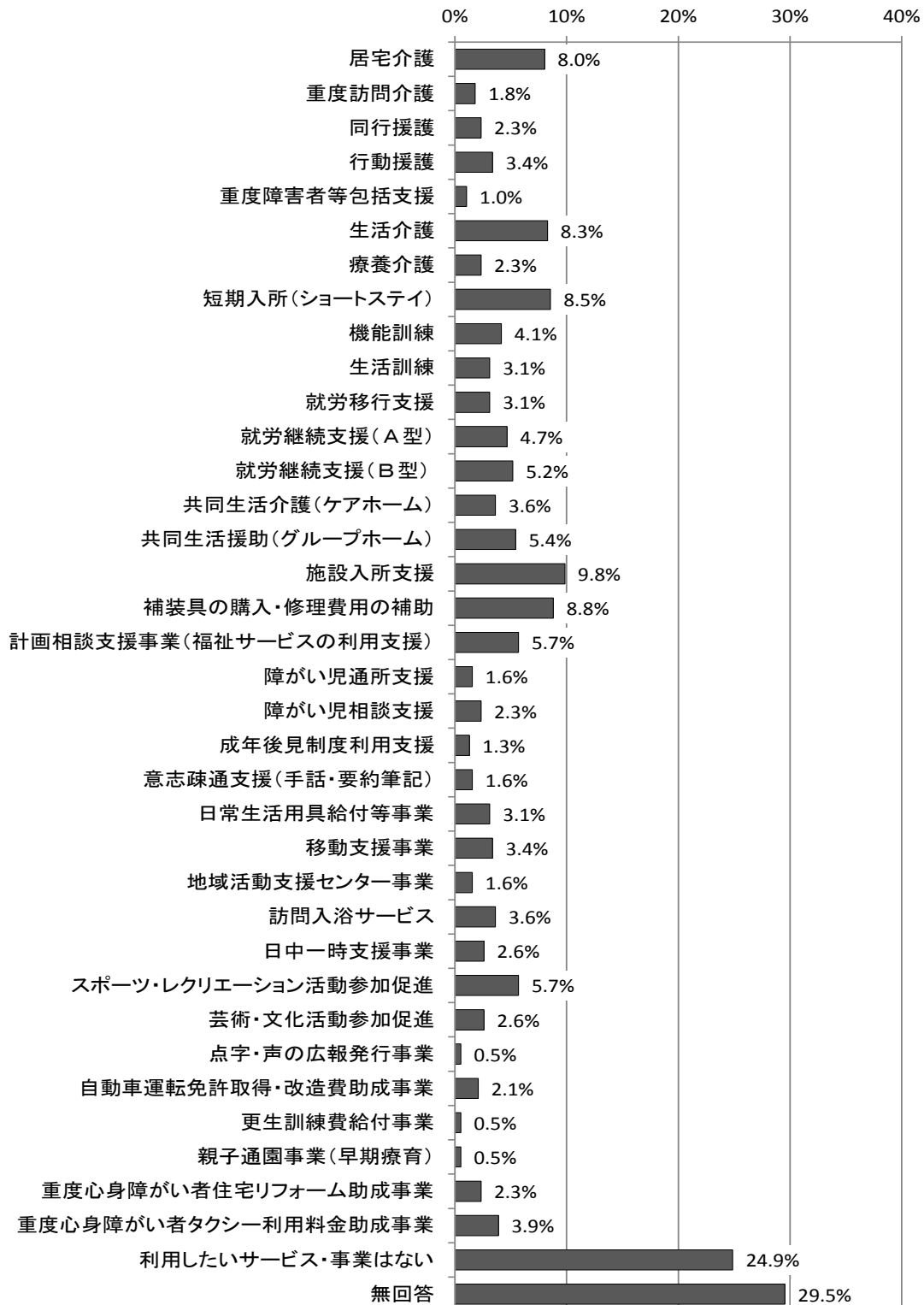
満足度が高い項目は、「生活介護」、「補装具の購入・修理費用の補助」、「計画相談支援事業（福祉サービスの利用支援）」、「居宅介護」となっています。
また、不満の高い項目については、「機能訓練」、「施設入所支援」、「補装具の購入・修理費用の補助」となっています。

項目	度 数						非該当	合計
	満足	普通	不満	無回答	回答者数			
居宅介護	9	9	0	80	98		288	386
重度訪問介護	1	2	0	95	98		288	386
同行援護	4	0	0	94	98		288	386
行動援護	4	0	0	94	98		288	386
重度障害者等包括支援	3	5	1	89	98		288	386
生活介護	10	8	0	80	98		288	386
療養介護	4	4	0	90	98		288	386
短期入所(ショートステイ)	8	7	1	82	98		288	386
機能訓練	2	6	2	88	98		288	386
生活訓練	2	6	0	90	98		288	386
就労移行支援	2	4	0	92	98		288	386
就労継続支援(A型)	2	2	1	93	98		288	386
就労継続支援(B型)	8	6	0	84	98		288	386
共同生活介護(ケアホーム)	3	2	0	93	98		288	386
共同生活援助(グループホーム)	4	4	0	90	98		288	386
施設入所支援	7	6	2	83	98		288	386
補装具の購入・修理費用の補助	10	4	2	82	98		288	386
計画相談支援事業(福祉サービスの利用支援)	10	8	0	80	98		288	386
障がい児通所支援	2	4	0	92	98		288	386
障がい児相談支援	2	2	0	94	98		288	386
成年後見制度利用支援	2	2	0	94	98		288	386
意志疎通支援(手話・要約筆記)	0	2	0	96	98		288	386
日常生活用具給付等事業	5	3	1	89	98		288	386
移動支援事業	4	3	0	91	98		288	386
地域活動支援センター事業	2	1	0	95	98		288	386
訪問入浴サービス	3	2	0	93	98		288	386
日中一時支援事業	6	6	1	85	98		288	386
スポーツ・レクリエーション活動参加促進	2	2	0	94	98		288	386
芸術・文化活動参加促進	2	2	0	94	98		288	386
点字・声の広報発行事業	1	2	0	95	98		288	386
自動車運転免許取得・改造費助成事業	0	2	0	96	98		288	386
更生訓練費給付事業	0	2	0	96	98		288	386
親子通園事業(早期療育)	0	2	0	96	98		288	386
重度心身障がい者住宅リフォーム助成事業	1	1	1	95	98		288	386
重度心身障がい者タクシー利用料金助成事業	2	2	0	94	98		288	386

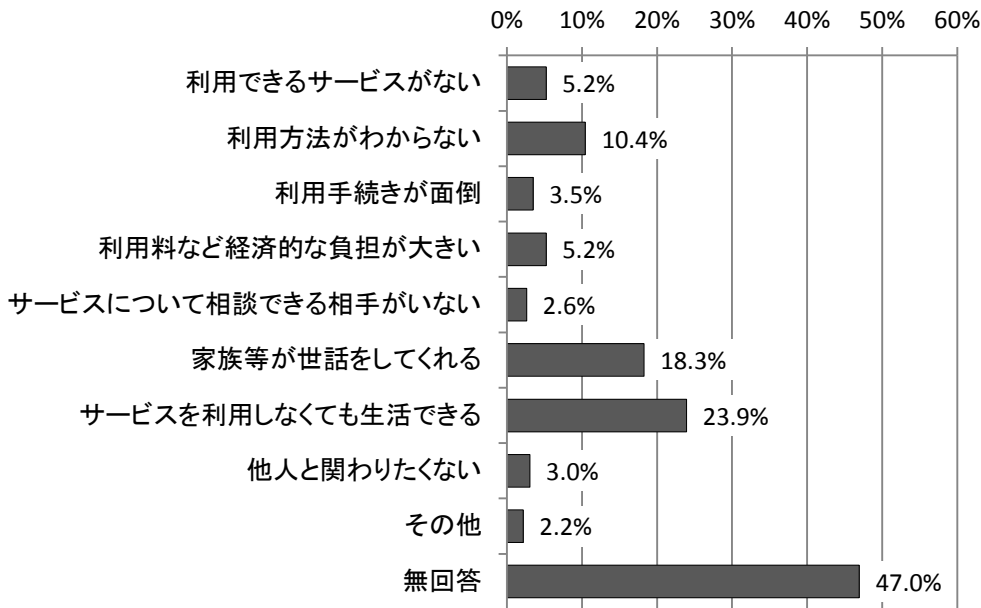
問 65 障がい者福祉サービスのうち、今後利用したいサービス・事業（複数回答）

今後利用したいサービス・事業については、「施設入所支援」が9.8%と最も高く、次いで「補装具の購入・修理費用の補助」が8.8%、「短期入所（ショートステイ）」が8.5%となっています。

また、「利用したいサービス・事業はない」は24.9%となっています。



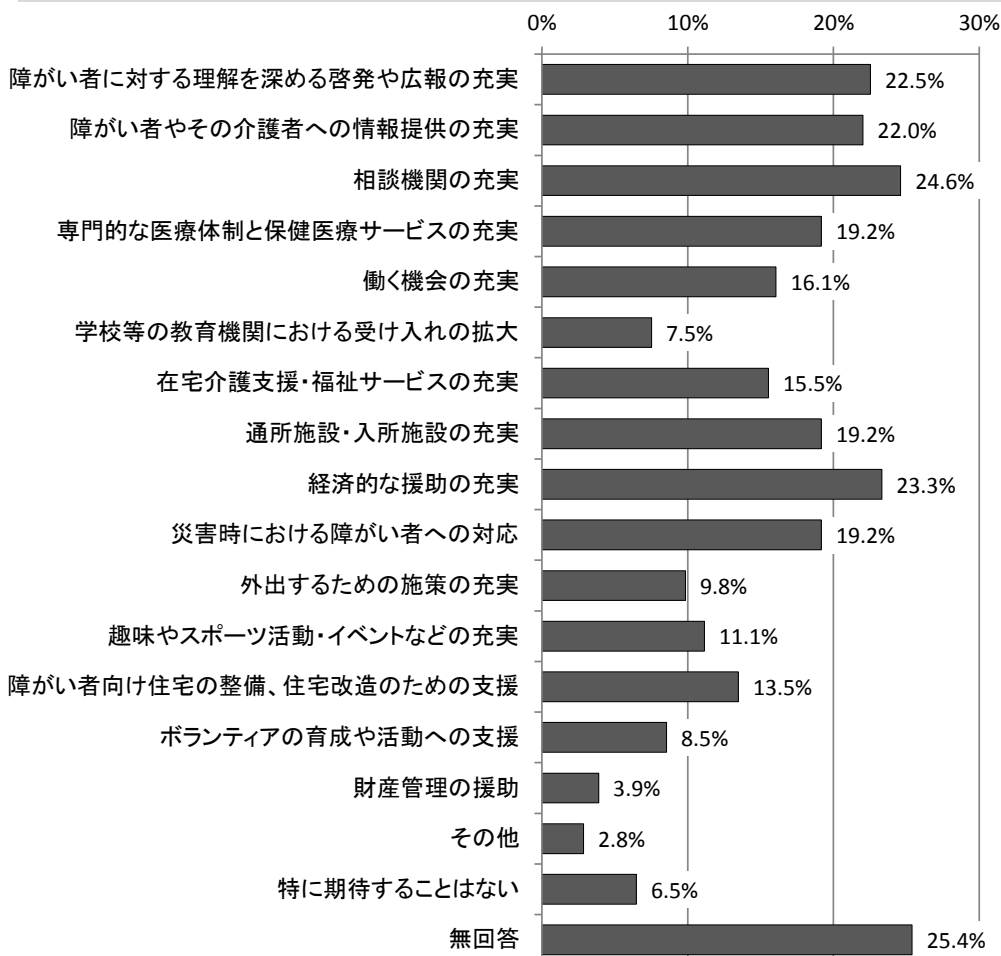
問 66 「利用したいサービス・事業はない」という理由（複数回答）
 （問 65 で利用したいサービスや事業がないと回答した方）



「サービスを利用しなくても生活できる」が23.9%と最も高く、次いで「家族等が世話をしてくれる」が18.3%、「利用方法がわからない」が10.4%となっています。

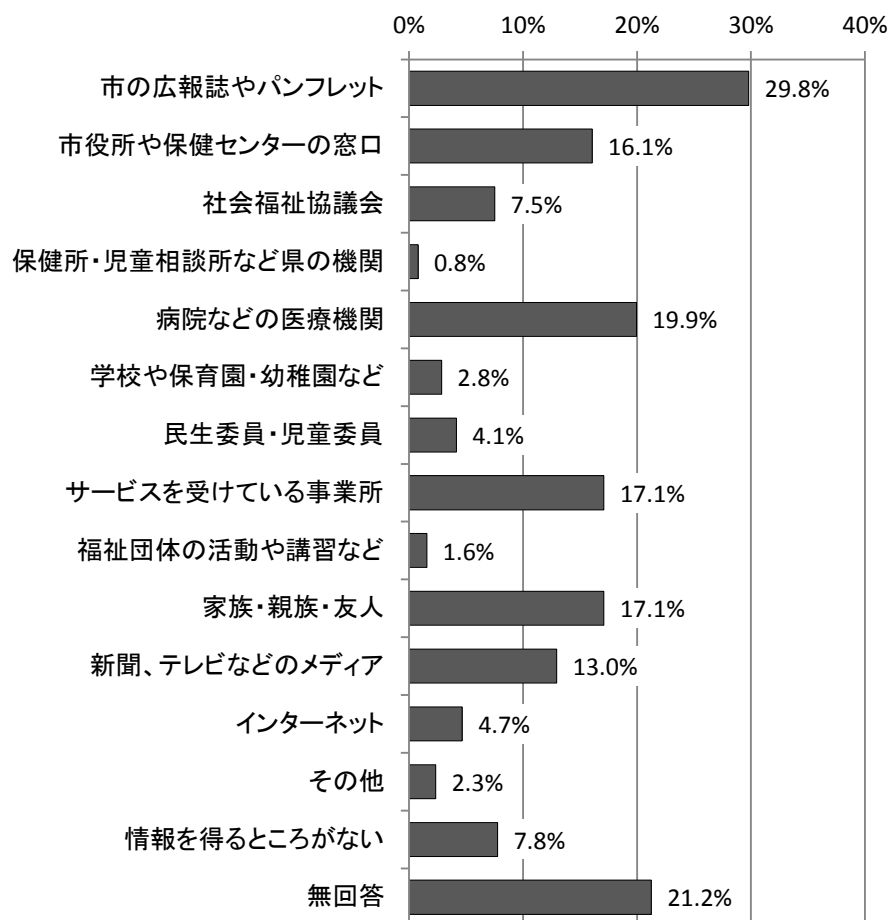
笠間市の障がい者福祉施策について

問 67 今後、笠間市の障がい者福祉施策に対して期待していること（複数回答）



「相談機関の充実」が24.6%と最も高く、次いで「経済的な援助の充実」が23.3%、「障がい者に対する理解を深める啓発や広報の充実」が22.5%となっています。

問 68 障がい福祉サービスに関する情報の入手先 (複数回答)



「市の広報誌やパンフレット」が29.8%と最も高く、次いで「病院などの医療機関」が19.9%、「サービスを受けている事業所」、「家族・親族・友人」がともに17.1%となっています。

問 69 総合的に見て、現在の笠間市は障がい者にとって暮らしやすいまちだと思うか

現在の笠間市は障がい者にとって暮らしやすいまちだと思うかについては、「暮らしやすい（暮らしやすい+どちらかという暮らしやすい）」が39.1%、「暮らしにくい（どちらかという暮らしにくい+暮らしにくい）」が10.9%となっています。

